

# 令和7年度第3回真庭市こどもはぐくみ推進本部会議 議事次第

日時：令和8年2月2日（月）14:30～15:30

場所：真庭市役所本庁舎3階応接室

## 1. 開会

## 2. 本部長あいさつ

## 3. 報告事項

### ①こどもはぐくみ応援プロジェクト 2025 事業実績見込について

資料1

(14:30～14:40)

## 4. 協議事項

### ①こどもはぐくみ応援プロジェクト 2026 のとりまとめについて

資料2

資料3

(14:40～15:00)

### ②来年度のこどもはぐくみ推進本部会議での検討課題について

資料4

資料5

(15:00～15:30)

## 5. 閉会

## 令和7年度こどもはぐくみ推進本部会議名簿

	職名	氏名	代理出席者
1		太田 昇	
2		伊藤 敦哉	
3		三ツ 宗宏	
4	危機管理監	今石 健司	
5	政策推進監	牧 邦憲	
6	総合政策部長	木村 辰生	
7	総務部長	行安 太志	
8	生活環境部長	金谷 健	
9	健康福祉部長	樋口 竜悟	
10	健康福祉部次長	神庭 麻理	
11	産業観光部長	木林 正和	
12	産業観光部次長	伊藤 大誠	
13	林業政策統括監	石原 匡師	
14	建設部長	川端 次男	
15	会計管理者	武村 良江	
16	蒜山振興局長	南 博晴	
17	北房振興局長	三浦 祥靖	
18	落合振興局長	大塚 清文	
19	勝山振興局長	谷岡 理江	
20	美甘振興局長	児玉 正裕	
21	湯原振興局長	佐山 宣夫	
22	消防長	大美 勝	
23	議会事務局長	杉山 修一	
24	教育次長	浅野 晃彦	
25	湯原温泉病院事務部長	西本 智一	
	事務局		
	子育て支援課	広岡 由紀子	
	子育て支援課	渡辺 義和	
	子育て支援課	二宗 政志	
	子育て支援課	水島 理枝子	

## R7年度「こどもはぐくみ応援プロジェクト2025」事業実績見込調査表（R8.1時点）

NO	ステージ	区分	事業名	担当課名	事業概要	実施内容	1月時点での	年度末の	R7当初 予算額(千 円)	R7.6補予算 要求額(千 円)	R7実績見込 額 (千円)
							実施状況 (人数・回数・件数・建設数等)	実績見込 (人数・回数・件数・建設数等)			
<b>1. 相談支援</b>											
1	就学前～高校	継続	<b>発達発達支援センター事業 (相談体制の充実等)</b>	障がい者・児発達発達支援センター	発達や発育、集団生活での適応など社会生活で困りを持つ方の相談に応じる。相談支援・通所支援・家族支援により、トータルライフ支援を行います。	相談支援・通所支援・家族支援を柱に、地域に向く巡回訪問・巡回相談や、園や学校との連携の強化、一人一人の発達段階に応じた個別療育の充実を図ります。	①相談支援：1,300件 ②通所支援：わくわく親子教室（延 176人）・わくわくステップ（グループ支援 延 448人・個別支援 延 63人） ③家族支援：保護者・支援者・園（参加合計 48人）	①相談支援：来所・TEL・訪問 ②通所支援：わくわく親子教室（市内4箇所）・わくわくステップ（発達発達支援センター） ③家族支援：就学についての話会	14,479	0	7,600
2	妊娠・出産期～高校	継続	<b>こども家庭センター (通称：はぐくみセンター) 事業</b>	こども家庭センター	改正児童福祉法により、令和6年度から子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点を統合し設置。保健師、社会福祉士、心理士等多職種の専門職を配置し、妊娠期から子育て期の伴走型の切れ目ない相談支援を行います。	母子保健・児童福祉両部門の連携・協働を深め、妊婦・乳幼児の健康維持や育児・子育ての相談支援、虐待の予防・対応など、個々の家庭に応じた丁寧な支援を行っています。	新規事業3件（職業訓練給付金、養育費確保支援、妊婦に対する交通費助成）を開始しより丁寧な支援を行っています。	-	-	-	
3	妊娠・出産期～小・中学校	継続	<b>真庭市はぐくみアプリ (母子手帳アプリ)</b>	こども家庭センター	①母子健康手帳機能：成長記録、予防接種のスケジュール管理等 ②地域の子育て情報機能：利用者の属性により情報提供、子育てイベント情報、施設情報等 ③予防接種DX：予防接種の予定を確定後、電子予診票の入力を実施等	・必要な人に、必要な情報が、必要なタイミングで届く ・予防接種等の手続きに係る保護者の負担軽減 ・業務の効率化	イベント発信：約400件 電子申請受付割合：116件中66%	イベント発信：600件 電子申請受付割合：190件中70%	1,459	0	1,459
4	妊娠・出産期～高校	継続	<b>子育てオンライン相談 (LINE等)</b>	こども家庭センター	妊娠・出産・子育てに関する相談をスマートフォンなどを使用し、LINEで相談を受ける。随時、子育ての情報を配信します。	LINE相談については随時回答するとともに、振興局保健師と連携を図る。又、月に数回程度、市の育児イベントや育児情報等について配信します。	相談件数800件 63回情報発信	相談件数 1000件 84回情報発信	488	0	488
5	妊娠・出産期	継続	<b>まにわパママクラス</b>	こども家庭センター	妊婦やそのパートナーが妊娠・出産・育児に必要な知識を助産師から学んだり、ほかのパパやママたちとの交流・友達づくりができる場を開催します。	令和7年度 1クール3回コース×3クール開催以降出産予定の方及び妊娠届出時に案内	2クール終了：実人数45人、延べ71人参加。3クール目実施中	第3クール2月末で終了予定 実人数50人・延人数85名見込	379	0	379
6	就学前	拡充	<b>ママと赤ちゃんのおっぱい相談 (産後ケア事業訪問型)</b>	こども家庭センター	助産師が自宅に訪問し、お母さんの母乳ケアや沐浴、授乳などの育児指導、お子さんの体重栄養チェック等を行います。	母と子の状況から申請により利用ができます。産後1年未満で3回まで助成をします。	6件（延）	見込み（延）19件	134	208	152
7	妊娠・出産期～就学前	継続	<b>母子保健コーディネーター相談支援</b>	こども家庭センター	妊娠や出産、子育てのさまざまな相談に応じ、必要なサービスを紹介する等、安心して妊娠や出産、育児ができるよう応援します。	母子保健コーディネーター2名体制で相談対応	相談に対し随時対応。乳幼児のイベントへ参加	9,503	0	9,503	
8	就学前	継続	<b>赤ちゃん訪問 (保健師・助産師)</b>	こども家庭センター	保健師・助産師が生後4か月までの乳児（未熟児含む）のいる家庭を訪問し、母子の健康状態の確認と子育て支援に関する情報提供等を行います。	4か月までの乳児のいる家庭に保健師又は助産師が全戸訪問します。	振興局単位で新生児を訪問	144	0	144	
9	就学前	継続	<b>育児相談 (保健師・栄養士)</b>	こども家庭センター	乳児、幼児の発育を確認するとともに、育児についての正しい理解を深め、母子の健康の保持増進を図ります。	市内8箇所です約2か月に1回育児相談を実施 保健師、助産師、栄養士、看護師等で子育て・栄養相談、身体計測を行います。	3会場/月で実施	257	0	257	
10	ライフステージにかかわらずない支援	継続	<b>ひとり親家庭就労相談支援</b>	こども家庭センター	ひとり親家庭に対しハローワークと協働し条件に合う就労支援を行います。	・児童扶養手当の現況届提出時期にあわせ、真庭市にハローワークが出張し相談窓口を設置 ・年間通して相談対応	8/25ハローワーク出張相談の開催	8/25ハローワーク出張相談の開催	-	-	-
11	就学前	継続	<b>愛育委員のこんにちは赤ちゃん訪問</b>	健康推進課	絵本を通して親子のふれあうことを目的に愛育委員がブックスタートの本を持って赤ちゃん訪問を行います。	3～4か月頃を目安に愛育委員が赤ちゃん訪問を行い、ブックスタートを勧めます。	205冊	205冊	180	0	137
12	就学前	継続	<b>愛育委員による親子交流事業</b>	健康推進課	北房、落合地域では、乳児と母親を対象にベビーマッサージを、久世地域では、就学前のお子さんと保護者を対象に愛育サロンを、勝山地域では、つどいの広場の集まりに合わせて親子の交流事業を開催します。	愛育委員が各地域で子育て支援ができるよう、つどいの広場や各振興局の保健師と連携を取りながら行います。	7支部で親子交流事業を33回実施（12月末）	7支部で親子交流事業を41回実施	-	-	-

NO	ステージ	区分	事業名	担当課名	事業概要	実施内容	1月時点での	年度末の	R7当初 予算額(千 円)	R7.6補予算 要求額(千 円)	R7実績見込 額 (千円)
							実施状況 (人数・回数・件数・建設数等)	実績見込 (人数・回数・件数・建設数等)			
13	就学前～高校	継続	食育推進ボランティアによる食育教室	健康推進課	子育てサロン等の集いの場、こども園、保育園、幼稚園の保育施設および小学生が集いの場等において、食育推進ボランティアが中心となり「食の体験活動（食育活動）」を通じて、健全な食生活の実現につなげます。	就学前から食育推進ボランティア（栄養委員）による食育体験ができるよう、保育施設や学校等と連携した取組を行います。	真庭市食育推進ボランティアと関係団体が協働し実施 12月末時点 62回 2,105人	72回 2,400人	1,971	0	1,971
14	就学前～高校	継続	家庭教育支援事業	生涯学習課	真庭市家庭教育支援チームを設置し、身近なエピソードや資料等をもとに参加者同士が交流しながら学ぶ機会を提供しています。	「おしゃべり広場ふらっと」をくせ活き生きサロン等で毎月開催 市内園小中学校の入学説明会や参観日、子育て支援団体等に親学習の機会を提供します。	おしゃべり広場9回、遊びの日2回、 ほっとこーなー9回	おしゃべり広場12回、遊びの日3回、 ほっとこーなー12回、親プロ26回	866	0	866
<b>2. 出産・育児・生活の支援</b>											
1	就学前～高校	継続	医療的ケア児訪問看護レスパイト事業	障がい者・児発達障害支援センター	在宅の医療的ケア児の看護や介護を行う家族の負担軽減、休息時間の確保などを目的に医療保険適用を超える訪問看護をうけた場合にその費用の一部を助成します。	医療保険の適用を超える訪問看護療養費30分当たり上限3,500円を補助します。（月4時間年間48時間を上限）	実利用者 2名	レスパイト事業委託料 357千円	1,053	0	370
2	妊娠・出産期～就学前	継続	はぐくみサポーター派遣事業	こども家庭センター	妊娠期から出産後の体力が回復するまでの間（母子手帳交付から産後1年未満）、はぐくみサポーターによる家事支援・育児支援が1時間につき500円の自己負担で1人30回まで受けられます。R5年度から年間利用回数を20回から30回に拡大し、非課税世帯は無料で利用できます。	妊娠期から出産後の体力が回復するまでの間（親手帳交付から産後1年未満）、はぐくみサポーターによる家事支援・育児支援が1時間につき500円の自己負担で30回受けられる。	88件（延）	169件（延）	457	0	510
3	妊娠・出産期～就学前	拡充	産後ケア事業 （日帰り型・宿泊型）	こども家庭センター	産後1年未満のお母さんとお子さんが、医療機関や助産院等に宿泊または日帰り利用することにより、お母さんとお子さんのケアや授乳指導、育児相談が受けられる。12回までは助成が受けれます。 令和7年度から次のとおり制度を拡充します。 ① 兄弟及び4ヶ月以降児の加算額を追加、多胎児加算額の拡充 ② 里帰り出産への対応として、未契約の医療機関での利用等に償還給付を導入 ③ 利用期間を、妊娠中からに拡充（宿泊型除く） ④ 初回利用時に市内3施設のいずれかの利用は無料 ⑤ 市内3施設の本来額まで、委託料の上限を引き上げて利用者の自己負担額を軽減	産後1年未満のお母さんとお子さんが、医療機関や助産院等に宿泊または日帰り利用することにより、お母さんとお子さんのケアや授乳指導、育児相談等が受けられる。生後1年未満に宿泊・日帰りを合わせて12回まで利用可能です。	ショート22件（延） ロング 66件（延） 宿泊 34件（延）	ショート28件（延） ロング 85件（延） 宿泊 38件（延）	1,594	1,193	4,181
4	妊娠・出産期～就学前	継続	妊産婦ケア事業 （産婦健診）	こども家庭センター	産後の体調や育児の状況を確認するため、産後8週間以内に委託医療機関で、2回受けられます。	産後8週以内の母の体調や育児の状況を確認し、安心して親子ともに健やかに過ごすことができ、医療機関が必要時治療や支援につながります。	償還： 6回 現物： 236回	償還： 10回 現物： 370回	2,177	0	1,900
5	就学前	継続	乳幼児健診	こども家庭センター	乳幼児の病気の早期発見と予防、及び健康の保持増進のため医師、歯科医師、歯科衛生士、臨床心理士、保健師、栄養士、看護師等が連携して健診を行います。	3～4か月児健診、9～10か月児健診、1歳6か月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診を年66回実施する。 身体計測、保健相談、内科・歯科診察、ブラッシング指導、心理相談、尿検査、栄養相談、目の屈折検査等を行います。	落合会場：43回、 湯原会場：5回実施。	落合会場：58回、 湯原会場：6回実施予定。	7,447	0	7,447
6	就学前	継続	離乳食教室	こども家庭センター	保護者の困りや不安感の解消、生活リズム、食習慣及び間食等について、管理栄養士・栄養士が中心となり、こどもの成長や発達状況に応じた支援を行います。	初期コース、中・後期コースいずれも6回ずつ開催予定。 こどもを対象に食に関する体験ができ、保護者の困りや不安感の解消になります。	落合会場：3回、 勝山会場：2回実施。	落合会場：3回、 勝山会場：3回実施予定。	65	0	65
7	就学前	継続	新生児聴覚検査 （費用の助成）	こども家庭センター	生後1年未満の乳児に対し、医療機関委託で新生児聴覚検査を実施し、費用の一部助成します。	岡山県内の産科医療機関及び県外の契約医療機関で出生後に検査を実施します。県外で出生された子どもさんへも受診を促します。	償還： 2回 現物： 121回	償還： 4回 現物： 210回	610	0	610
8	妊娠・出産期	継続	妊婦・パートナー歯科健診 （自己負担の無料化）	こども家庭センター	妊婦及びパートナーに対し、市内歯科医院委託で歯科健康診査を実施します。	市内歯科医院へ委託。歯科医院で歯科健診、歯科保健指導、リーフレットを用いて歯科疾患がもたらす子どもへの影響を説明します。	妊婦：56件 パートナー：34件	妊婦：72件 パートナー：45件	502	0	477
9	妊娠・出産期	継続	妊婦・乳児健康診査事業	こども家庭センター	①妊婦健康診査 妊婦が心身ともに健康に過ごすために、妊婦健康診査を無料で実施する。 ②乳児健康診査 乳児が心身ともに健康に過ごすために健康診査を無料で、新生児聴覚検査を一部負担で実施する。	①妊婦健康診査 妊婦の体調を確認することで、安心して健やかに過ごすことができ、医療機関が必要時治療や支援につながります。 ②乳児健康診査 乳児の体調を確認することで、安心して親子ともに健やかに過ごすことができ、医療機関が必要時治療や支援につながります。	①妊婦健康診査 償還： 24回 現物： 1520回 ②乳児健康診査 償還： 2回 現物： 193回	①妊婦健康診査 償還： 50回 現物： 2300回 ②乳児健康診査 償還： 6回 現物： 300回	25,524	0	21,000

NO	ステージ	区分	事業名	担当課名	事業概要	実施内容	1月時点での	年度末の	R7当初	R7.6補予算	R7実績見込
							実施状況 (人数・回数・件数・建設数等)	実績見込 (人数・回数・件数・建設数等)	予算額(千円)	要求額(千円)	額 (千円)
<b>3. 経済的支援</b>											
1	就学前	新規	保育所等への給食食材費助成	子育て支援課	市内の公立園、私立園、事業所内保育所、認可外保育施設に対し、物価高騰対策のため給食食材費の一部を助成します。	市内の公立園、私立園、事業所内保育所、認可外保育施設へ食材費の一部を助成することにより、園運営の負担を軽減し、引き続き入園児へ安心・安全な給食を提供する事ができます。	年度末に実施予定	市内の保育施設に対し給食食材料費の一部を助成	17,770	0	17,770
2	妊娠・出産期～就学前	新規	妊婦等に対する遠方の医療機関への移動支援	こども家庭センター	遠方の産科医療機関等で受診する妊婦健診にかかる交通費の8割を助成します。 また、分娩のために遠方の産科医療機関または周産期母子医療センターに移動し、宿泊する場合の交通費について8割と1泊あたり2,000円を控除した宿泊費を最大14泊まで助成します。	最寄りの産科医療機関等が遠方である場合に、妊婦健診や分娩のための移動等にかかる費用を助成し、経済的負担の軽減と施設までのアクセスを確保します。	0件	38件	-	1,218	1,218
3	ライフステージにかかわらない支援	新規	ひとり親家庭への養育費確保支援	こども家庭センター	ひとり親に対して、養育費に関する公正証書等の作成について1件あたり30,000円以内、養育費確保のための強制執行について1件あたり100,000円以内の必要な経費を助成します。	養育費支払いの履行確保を支援し、ひとり親家庭の生活の安定を図ります。	実績0件	3件	-	250	250
4	就学前	継続	保育料の減免・無償化(第3子以上)	子育て支援課	ひとり親世帯などに該当する場合や第3子以降については保育料の減免や無償化を行います。	申請のあった該当世帯へ減免等	70名に実施	70名(延べ720名)に実施の見込み	25,415	0	23,729
5	ライフステージにかかわらない支援	拡充	ひとり親家庭への就業支援にかかる給付金	こども家庭センター	ひとり親家庭の父母に対し、就職に有利かつ生活の安定に資する資格を取得するため、養成機関で修業する期間に高等職業訓練促進給付金を支給し経済的な支援を行います。 R7年度はひとり親家庭の父母が教育訓練講座を受講する場合にその経費の一部を支援し、職域の拡大や自立の促進を図るため自立訓練給付金事業を追加します。	教育訓練の受講に係る経費の一部負担を行い、主体的な能力開発の取り組みを支援し、自立促進を図ります。 児童扶養手当現況届の際などに、資格取得の意向がある方に対し、当該事業について周知します。	実績0件	1件	1,970	0	1,970
6	妊娠・出産期～就学前	継続	出産・子育て応援はぐみ給付金事業	こども家庭センター	妊娠時と出産時に応援金を給付し、経済的負担を軽減します。(妊娠時、出産時それぞれ5万円給付+伴走型支援)	伴走型相談支援との一体的な実施により、必要に応じた支援に繋がります。	242件	380件	20,000	0	19,000
7	妊娠・出産期	継続	低所得妊婦初回産科受診料助成事業	こども家庭センター	低所得家庭の妊婦に対して、妊娠の診断を受けるために医療機関を受診する際の初回費用を助成し、経済的負担を軽減します。1回あたり1万円を上限	1回あたり1万円を上限とし、年度内2回まで	0件	5件	50	0	50
8	妊娠・出産期	継続	不妊・不育治療支援事業	こども家庭センター	不妊症・不育症のため、子どもを持つことができない夫婦に対して、治療費の助成を行い、経済的負担を軽減します。	上限額を設定した上で全ての不妊治療に拡大	12件	42件	5,500	0	5,500
9	妊娠・出産期	継続	未熟児養育医療給付事業	こども家庭センター	出生時体重が2,000g以下などで、身体の発育が未熟なまま出生し、医師の判断で、「入院治療が必要」とされた場合に、養育医療に要する費用を支給するもの。また、患者世帯の所得状況により、一部負担金を徴収する。	未熟児の生後に速やかに適切な処置をすることで、疾病、心身の障害、死亡を防ぎます。	3件	7件	1,585	0	1,226
10	妊娠・出産期	継続	若年がん患者妊孕性温存治療支援事業	健康推進課	生殖機能に影響するおそれのある治療を受けるがん患者に対して、治療費(妊孕性温存治療)の助成を行い、経済的負担を軽減します。	申請のあった医療保険外の妊孕性温存治療を受けた方への治療費の助成を行います。	更新1名	更新1名	255	0	30
11	高校	継続	市内就職を志す看護学生への奨学金	健康推進課	看護師養成所に在学する者のうち(大学含む)、真庭市内の医療機関に就職を希望する者に対して奨学金のを貸付事業を実施します。(返還免除あり)	奨学金支給を希望する学生を募集	過年決定: 8人・3,285千円	過年決定: 8人・4,380千円 今年決定: 1人・600千円	9,780	0	4,980
12	就学前～高校	継続	こども医療費無償化	市民課	こども医療費給付事業において、令和5年6月診療分から対象年齢を高校生世代(満18歳)までに拡充し、無償で医療(入院・通院とも)を受けられます。	医療費無償化の対象年齢を高校生世代まで拡充し、保険診療にかかる医療費無償化により、安心して医療機関等を受診できます。	対象者数(R7.12.31現在) 3歳未満...526人 就学前...848人 小学生...1892人 中学生...1028人 高校生...1076人	195,056	0	180,555	

NO	ステージ	区分	事業名	担当課名	事業概要	実施内容	1月時点での	年度末の	R7当初	R7.6補予算	R7実績見込
							実施状況 (人数・回数・件数・建設数等)	実績見込 (人数・回数・件数・建設数等)	予算額(千円)	要求額(千円)	額 (千円)
13	高校	継続	高校生・大学生等への奨学金	教育総務課	高校及び大学等の進学支援として奨学金の貸付事業を実施。奨学金利用者で市内就職等を行った者に借入額の最大2分の1を限度に奨学金返還免除を行います。	より多くの奨学金利用者へこの制度の周知を図るため、返還金納付書を送付する際にPRをします。	返還開始している全員にUターン情報と合わせて本制度のチラシを添付。1名が返還免除申請し、認定。	1名	12,960	0	12,749
14	就学前～小・中学校	拡充	小中学校等の給食費への助成事業 (物価高騰に伴う緊急支援)	教育総務課学校給食推進室	給食材料費の仕入れ価格の高騰の影響により学校給食費を値上げする状況にあり、保護者の急激な経済的負担を押しさえるため、学校給食費を据え置くとともに学校給食の質を維持するため、市費による食材費高騰分の補填をします。	食材費の実質高騰分1食当たり20円の補填から50円の補填への拡大による適正な栄養価の給食の維持を図ります。	提供数：433,549食	随時実施	29,093	0	29,093
<b>4. 子育て環境整備</b>											
1	就学前	新規	こども園等の再編整備促進	子育て支援課	老朽化しているこども園等を保育ニーズも考慮し、再編整備を行います。R7年度は、R9年度に開園を予定している新たな公立の認定こども園の建設工事や市内公立園の施設整備計画を策定します。	市内園の老朽化等の状況を把握し、今後の方向性を検討し、計画的な事業実施を目指します。	R7.9.30久世第二こども園（仮称）工事請負契約締結 施設整備計画は1月21日までパブリックコメント実施	久世第二こども園R8.12.25完成予定 施設整備計画R8.3.31完成予定	724,753	0	724,753
2	就学前～小学校	新規	園庭であそぼう整備事業	子育て支援課	市内の公立こども園・保育園の園庭を休日開放する。	安全確保が可能な公立園の園庭を休日解放することで、主に就学前の子どもの遊び場として利用いただき、子育てに魅力のあるまちづくりを行います。	公立園7園の庭開放に向けた施設整備中	整備完了後園庭開放を行う	-	7,293	7293
3	小・中学校	新規	小中学生向け起業家育成プログラム	産業政策課	小中学校におけるキャリア教育の充実を図り、地域の産業を支える人材の育成及び地域ビジネスの認知及び将来的な雇用拡大を目指すため、起業家育成プログラムを実施する	未来の産業人材の育成及びキャリア形成	落合中学校1年生を対象にプログラム（全6コマ）を実施中。	落合中学校1年生を対象にプログラム（全6コマ）を実施。	-	4,110	4,100
4	就学前～高校	新規	地域防災力育成強化事業	危機管理課	真庭市防災講座（ジュニア防災教育）として、園・小学校・中学校・高等学校・学童を対象とした、講座等の実施及び講座等実施の支援を行います。	小・中学校および学童に対する防災学習授業、中学校の避難訓練支援、夏休み学童保育での防災学習など。	15回	15回	675	0	675
5	高校	新規	高校生ビジネス講座受講支援	産業政策課	高校生のスキルアップを支援するため、プログラミング、デザインなどの講座の費用の一部を補助します。	高校生のスキルアップを支援することで、未来の産業人材を育成	実績：398,050円 内訳：検定料11件（危険物取扱、フォークリフト運転技能講習等）、万博入場料、スマートストア運営支援として	資格試験料（件数未定）	1,000	0	1,000
6	高校	新規	高校生チャレンジ支援	産業政策課	地域課題をビジネスで解決することにチャレンジする高校生を後押しします。	高校生のチャレンジを後押しすることで、未来の産業人材を育成	実績：40,000円 スマートストア運営支援として	真庭高校商品開発支援4社分予定	500	0	500
7	ライフステージにかかわらずない支援	新規	女性キャリア開発調査事業	産業政策課	市内企業にヒアリングを行い、企業が求めるデジタルスキルはどのようなものか調査を行うとともに、女性に対してもアンケート調査を行い、デジタル講座の必要性や講座の内容について分析を行う。	市内企業及び女性への調査とデジタル講座開設に向けた準備	アンケート（個人）735件、アンケート（企業）44件、インタビュー（個人）16件、インタビュー（企業）14件、座談会（個人）39件	アンケート（個人）735件、アンケート（企業）44件、インタビュー（個人）16件、インタビュー（企業）14件、座談会（個人）39件	14,916	0	14,911
8	妊娠・出産期～小・中学校	新規	北町公園あそび場整備	スポーツ・文化振興課	やまびこグラウンドに敷いていた人工芝を活用して、北町公園の体育館跡地に、建物が建つまでの間、人工芝を敷き子どもの遊び場を作ります。	北町公園に建物が建つ間、久世体育館跡地に人工芝を敷き、子どもの遊び場を整備します。	1月末利用開始予定		16,600	0	8,140
9	小・中学校	新規	蒜山平和学習	生涯学習課	市内小学校を対象に蒜山の戦争遺跡を見学し、平和について考える学習を支援する取組を実施します。	年間5校参加	市内5校により4回、教職員・児童57人参加	市内5校により4回、教職員・児童57人参加	1,028	0	1,028
10	小学校	新規	こども防火管理者講習会	消防本部・予防課	小学3年生以上を対象に防火管理についての講習会を、各小学校にて座学45分、体験学習45分で実施します。	消防用設備や避難経路などの知識を習得し、子供達の手で少しでも火災の発生や被害を軽減できることを目的とした内容となっている。	市内5箇所の小学校にて、89人に実施	市内6箇所の小学校にて、100人に実施	-	-	6
11	就学前～小学校	新規	こども消防士育成プロジェクト	消防本部・予防課	5歳児以上を対象に、火災や各種災害の危険性などについての講習会を、各保育園にて1時間30分程度で実施します。	こども一人ひとりが災害時において、様々な行動により生き抜く力を身につけてもらうことを目的とした内容となっている。	市内13箇所のこども園にて、227人に実施	市内13箇所のこども園にて、227人に実施	-	-	10

NO	ステージ	区分	事業名	担当課名	事業概要	実施内容	1月時点での	年度末の	R7当初	R7.6補予算	R7実績見込
							実施状況 (人数・回数・件数・建設数等)	実績見込 (人数・回数・件数・建設数等)	予算額(千円)	要求額(千円)	額 (千円)
12	ライフステージにかかわらない支援	拡充	こどもはぐくみ応援事業	子育て支援課	育児がしやすい社会の実現のための理解促進に取組むことで、「みんなではぐくむ子育てのまち」の実現のための機運醸成を図ります。令和7年度はこどもまんなかまつりや座談会に加え、屋内巡回遊び場を新たに行います。また、真庭市が実施する施策及びこども・子育て情報を集約し発信するため、市民インフルエンサーや動画作成に加え、令和7年度は子育て支援施策のチラシを作成し広報紙と合わせて全戸配布するほか、公園などのこどもの居場所の情報を動画やマップなどで発信します。	「みんなではぐくむ子育てのまち」を実現するため、地域全体で子育てを応援する機運を醸成します。また、「住み続けたい」と感じてもらえるよう、子育て世代をメインターゲットに、こども・子育て支援に関わる事業や欲しい情報を効果的に発信します。	・こどもまんなか応援サポーターなど紹介動画月1本（計9本）作成。 ・Instagram「こどもあ」で、10名の市民インフルエンサーによる月2回以上の投稿。(555フォロワー) ・夏やすみあそび広場7/23～8/28市内7か所を巡回して実施。(こども・保護者計1,970名来場) ・みんなではぐくむ子育てのまちまにわタプロイド紙作成して8月広報紙に同封し全戸配布 ・まにわこどもおでかけマップ作成し、あわせて10月広報紙で紹介 ・こどもまんなかまつり開催(11/16)。(こども・保護者約900名来場) ・子育て支援者座談会2回開催(延べ43名参加) ・ユース座談会開催(15名程度参加予定) ・こどもまんなか応援サポーター参画企業等促進 ・市公式ラインアカウントの登録促進(友だち2,007)	・こどもまんなか応援サポーターなど紹介動画月1本（計12本）作成。 ・Instagram「こどもあ」で、10名の市民インフルエンサーによる月2回以上の投稿。(目標1000フォロワー) ・夏やすみあそび広場7/23～8/28市内7か所を巡回して実施。(こども・保護者計1,970名来場) ・みんなではぐくむ子育てのまちまにわタプロイド紙作成して8月広報紙に同封し全戸配布 ・まにわこどもおでかけマップ作成し、あわせて10月広報紙で紹介 ・こどもまんなかまつり開催(11/16)。(こども・保護者約900名来場) ・子育て支援者座談会2回開催(延べ43名参加) ・ユース座談会開催(15名程度参加予定) ・こどもまんなか応援サポーター参画企業等促進 ・市公式ラインアカウントの登録促進(目標友だち3,000)	8,574	0	7,984
13	ライフステージにかかわらない支援	継続	真庭ではたらく保育士新生活支援事業（保育士の就職支援）	子育て支援課	真庭市内の保育施設に新たに就職する保育職として働く方へ支援（補助金）を行います。	・真庭市内への就職促進 ・保育職の確保	7名に補助金支給済	補助金支給見込7名	3,000	0	2,250
14	就学前	継続	頑張る保育士応援事業（奨学金の一部返済補助等）	子育て支援課	奨学金を用いて保育士等の資格を取得し、真庭市内に就職した方へ、奨学金返済額の1/2（上限は年12万円）の補助を行います。	正規職員や認可外保育施設の勤務者も対象に含めます。	29名補助金支給決定済	補助金支給見込29名	2,214	0	1,855
15	就学前	継続	民間認定こども園サロン事業	子育て支援課	民間園が実施する一時預かり及び地域子育て支援事業の運営費に対し補助金を給付します。	地域の子育て支援の量の充実や質の向上	R6.6～地域子育て支援拠点：週5日開所 R7.1～一時預かり：定員一日につき3人	地域子育て支援拠点事業1カ所 一時預かり事業1カ所	17,473	0	6,000
16	就学前	継続	園児のおむつスッキリ事業（園での使用済みおむつ処理）	子育て支援課	園で使った園児のおむつを園が引き取ることで、保護者の方の持ち帰りの負担が軽減されます。また、保育士がおむつの仕分けをする必要がなくなり、園児と向き合う時間を増やすことができます。	園の規模に合わせたオムツ回収ボックスを整備しています。	回収ボックスを全園に設置	各園に回収ボックスを整備済み	-	-	-
17	就学前	継続	こども園等の施設改修	子育て支援課	既存のこども園等の改修を計画的に行い、適正な保育環境の整備を行います。	安全・安心、衛生面の充実を図ります。	美川こども園、河内こども園、湯原こども園の改修工事の設計が完了し、工事請負契約を10月に締結	R8.1.30完成予定	21,967	0	20,904
18	就学前	継続	保育人材の確保促進事業	子育て支援課	令和5年度に引き続き養成課程のある学校へのリクルート活動、保育現場従事者の免許状の取得に係る費用の助成を行うことに加え、令和6年度から学生に真庭市の保育を知ってもらう体験の機会への交通費などを助成し、保育士を確保と市内の保育環境を向上を目指します。	保育の質の向上を図るため、包括連携協定の締結している大学等の学生に、真庭市の保育を知ってもらう機会を創ります。リクルート活動：5月までに県内の養成校に対しリクルート活動を行います。	5月に近隣16の大学等保育士養成校へリクルート訪問実施	リクルート活動、告知放送等で幅広く保育士確保を行っている	318	0	318
19	就学前	継続	こども園等のICT化推進事業	子育て支援課	公立保育園、こども園職員の業務負担の軽減を図り、保育業務に専念できる環境を構築し、保育の質の向上を図るとともに、保護者の利便性を向上させるための保育業務支援システムを導入します。	R6年度で公立園全園で導入が完了	R6年度に公立園全園で導入完了	導入したシステム機能について今後も随時活用を検討	8,697	0	6,811
20	就学前	継続	一時保育サービス事業	子育て支援課	保護者の疾病や出産、看護等の理由により一時的に保育をすることが困難な方に、保育園等で一時的な保育を提供します。	前年度から引き続き、市内各園での預かりを行います。	132名が利用(12月末時点:公立園)	180人利用見込み	-	-	-

NO	ステージ	区分	事業名	担当課名	事業概要	実施内容	1月時点での	年度末の	R7当初	R7.6補予算	R7実績見込
							実施状況 (人数・回数・件数・建設数等)	実績見込 (人数・回数・件数・建設数等)	予算額(千円)	要求額(千円)	額 (千円)
21	就学前～小学校	継続	病児保育事業（市内2か所）	子育て支援課	子どもが病気の時、保護者が仕事等の都合で家庭での保育が困難な際に一時的に預かり保育する事業。（市内2ヶ所に委託）	2か所運営委託。令和4年度末に増設したため、周知啓発に努めます。	2施設計73件の利用	2施設計120件利用見込	19,063	0	19,063
22	妊娠・出産期～就学前	継続	つどいの広場の運営	子育て支援課	就学前の乳幼児と保護者が気軽に集い、交流しあえる場所の提供します。	北房、落合、久世（2か所）、勝山、湯原、蒜山で開催	全体のR7年未利用者数は14,000人程度	全体のR7年度利用者数は16,000人程度となる見込み。	32,675	0	22,200
23	小・中学校	継続	放課後児童クラブの整備	子育て支援課	保護者が就労等の理由で昼間家庭にいない児童を放課後に預かり、児童の健全な育成を図るため、放課後児童クラブ専用スペースを確保するために必要な施設を整備する。	勝山小学校区放課後児童クラブ移転改修工事を行います。	R7.10.31に改修工事完了	R8.4.1移転予定	19,866	0	18,568
24	就学前	継続	事業所内保育所推進事業	子育て支援課	第3子児童の保育料を無償化する事業所内保育所へ補助します。	申請のあった市内の事業所内保育所へ補助金を交付します。	2施設（対象者延64名）へ支給予定	2施設（対象者延64名）へ支給予定	1,440	0	1,280
25	就学前～高校	継続	子育て短期支援事業	こども家庭センター	保護者の疾病、出産、育児疲れ、冠婚葬祭などの理由で一時的に家庭で子どもを養育することが難しくなった場合に、7日間を限度として児童養護施設（津山市・2か所）で子どもの預かりを行います。	津山市内の2施設に委託。振興局保健師や関係機関と連携し、支援が必要な家庭に情報を届けます。	7件（のべ12日）	30件（のべ60日）	393	0	393
26	小・中学校～高校	継続	いのちふれあい事業（中学校・高校）	こども家庭センター	中・高校生を対象にした、命の大切さを学ぶためのふれあい体験学習。各地域それぞれの方法で愛育委員と中・高校、健康推進課が連携して事業を行っています。	地域の愛育委員と一緒に中・高生が、講話を聞いて命の大切さを学んだり、妊婦体験や育児体験を行います。	中学校6校	中学校6校	25	0	47
27	就学前～高校	追加	J R 姫新線社会学習利用助成事業	くらし安全課	J R 姫新線を活用した社会学習に対し、乗車券購入費用の全額及び園・学校等から駅までの貸切バス等の運賃等の2分の1(上限5万円)を補助します。	公共交通機関である姫新線の利用体験を通じて、子どもたちの社会性を育みます。目標：年300人	5件・162人	5件・162人	364	0	225
28	小・中学校	追加	スポーツ少年団補助金事業	スポーツ・文化振興課	真庭市のスポーツ少年団の活動を支援し、もって青少年の健全育成及びスポーツの振興を図るため、市内のスポーツ少年団に対して補助金を交付します。	青少年の健全育成及びスポーツの振興を図ります。	補助金交付：1回		10,530	0	10,530
29	小・中学校	追加	芸術アウトリーチ事業	スポーツ・文化振興課	芸術アウトリーチ事業の一環として、音楽やダンス、狂言鑑賞の体験授業を真庭市内の小・中学生を対象に実施します。	小・中学生を対象に、質の高い舞台・映像芸術や音楽文化などに触れる機会を提供することで芸術への関心を高め、芸術に対する感性や能力を育成し、豊かな人間性を育みます。	落語、郷原漆器、音楽・ダンス・狂言、映画製作アウトリーチを実施 ・小学校 14件 児童361人参加 ・中学校 5件 生徒455人参加	・小学校 4件 児童129人予定 ・中学校 3件 生徒108人予定	6,785	0	5,819
30	小・中学校	追加	地域スポーツ・文化推進事業	スポーツ・文化振興課	中学校の学校部活動が地域移行されるに伴い、地域において中学生がスポーツ・文化活動ができる場を確保できる体制づくりを行います。	学校部活動で実施している種目だけでなく、地域において生涯、継続的にいるんなスポーツや文化活動ができるような体制づくりを行います。	実証事業活動種目数：11種目 登録者数：353人		20,303	0	20,000
31	就学前～小学校	追加	小学校での馬とのふれあい体験	スポーツ・文化振興課	馬術をもっと身近に感じ、乗馬の楽しさを知ってもらうため、小学校で馬とのふれあい体験を実施します。	乗馬の楽しさや馬を知ってもらい、子ども達への情操教育の一端を担います。	2回開催： ・11/21 天津小学校1、2年生 45名 ・12/12 北房小学校5年生 33名		454	0	329
32	就学前～小学校	追加	子どもと楽しむ音楽会	スポーツ・文化振興課	真庭市・岡山フィルハーモニック管弦楽団・真庭エスパス文化振興財団が連携し、気軽に初めてのオーケストラを親子で楽しんでもいただくために実施します。	県内の楽団による演奏会として、クラシックコンサートに訪れる機会がない子育て世代や、その子どもたちに、気兼ねなくコンサートを楽しんでもらえるように実施します。	8/24、エスパスホールにて開催 参加者数：338人（うち乳児37名）		500	0	500
33	就学前～小・中学校	追加	小・中学生へのプレゼントコンサート	スポーツ・文化振興課	真庭市・岡山フィルハーモニック管弦楽団・真庭エスパス文化振興財団が連携し、市内の小・中学生にオーケストラを楽しんでもいただくために実施します。	オーケストラを体験する機会を設けることで、子ども達への情操教育の一端を担います。	6/16、17の2日間、エスパスホールにて開催 参加学校数：小学校10校、中学校1校 参加児童生徒数：804名		440	0	440
34	就学前～高校	追加	映画づくりワークショップ	スポーツ・文化振興課	子どもから大人まで、映画に親しみ映画制作について学ぶワークショップを実施します。	段階別に分けた講座を開催し、さまざまな層に映像や文化に対するの訴求を図ります。	・映画作りワークショップ（7/2626日、8月2日、11日、23日4日間実施、参加者数：のべ61人） ・完成試写会（令和7年12月14日開催、来場者数：27人）		1,485	0	990

NO	ステージ	区分	事業名	担当課名	事業概要	実施内容	1月時点での	年度末の	R7当初 予算額(千 円)	R7.6補予算 要求額(千 円)	R7実績見込 額 (千円)
							実施状況 (人数・回数・件数・建設数等)	実績見込 (人数・回数・件数・建設数等)			
35	小・中学校	追加	こども映画祭上映会（文化活動補助事業）	スポーツ・文化振興課	子どもから大人までを対象とした映画祭を開催する。子ども大人も楽しめる映画やエコロジーをテーマにした国内外の優秀な作品をセレクトし、上映を行うほか、作品に関連したゲストを迎え、ワークショップやシネマトークを開催します。	会場はビクトリアシアター（久世）と真庭市立中央図書館をメイン会場とし、より近い環境で映画に関わることの出来る機会を提供する。周辺地域と連携しながら、「まち」全体を楽しむことができる映画祭を目指します。	未実施	令和8年3月27日から29日まで3日間にわたり開催予定 参加予定人数：のべ300人	1,890	0	1,890
36	就学前	継続	企業内保育所推進事業（事業所内保育所等推進事業）	産業政策課	企業が設置する保育所等に地域枠を設けて設置企業従業員以外の乳幼児を受入れている企業所内保育所に対する補助を行います。（1人月額5千円）	設置企業従業員以外の乳幼児を受入れている企業所内保育所に対し、1人月額5千円の補助を行います。	1件 地域枠受入数8人	1件 地域枠受入数8人	540	0	480
37	ライフステージにかかわらずない支援	継続	子育て世帯就業環境改善事業	産業政策課	子育て世帯の所得の増加と企業の人材確保を目的として、子育て世帯就業環境改善に関心のある企業を対象とした研修会の開催や他都市事例や市内企業のニーズに基づく告知物による啓発を行います。	子育て世代の就業を促進し所得の向上 子育て世帯の就業が促進されることで企業の人材確保	アンケート735件（個人） アンケート44件（企業） インタビュー（個人）16件 インタビュー（企業）14件 座談会（個人）39件	アンケート735件（個人） アンケート44件（企業） インタビュー（個人）16件 インタビュー（企業）14件 座談会（個人）39件	4,000	0	4,000
38	妊娠・出産期～高校	継続	空き家活用推進事業	まちづくり推進課	10年以上市外に居住し定住意思をもって転入する人で転入後3年を経過しない人に補助金を交付します。 子育て支援に資することを目的に、同世帯の子（23歳未満の子をいう）を養育している場合、1人あたり5万円を加算、申請者の配偶者については、1人あたり3万円を加算します。	子育て世代の負担を軽減し、こども・子育てを応援する社会的機運を醸成することができます。	全54件の申請のうち、18件の申請に対して延べ25名分の扶養加算を実施した	全54件の申請のうち、18件の申請に対して延べ25名分の扶養加算を実施した	44,000	0	44,662
39	就学前～高校	継続	安心して遊べる場の整備促進	まちづくり推進課	広く要望を募り、公民協働によるポケットパークを整備します。	公民協働によるポケットパークを整備し、子育て世代が安心して遊べる場を増やします。	新規なし、既存公園整備	新町どんぶり公園にパーゴラ（日除け）整備	1,000	0	0
40	就学前～高校	拡充	市営住宅の優先入居	まちづくり推進課	子育て中の多子世帯（18歳未満の子を3人以上扶養する者）等又は小学生以下の子が1人以上いる世帯の市営住宅の入居に関して配慮が必要な方を優先的に市営住宅に入居できます。	多子世帯等又は小学生以下の子が1人以上いる者が市営住宅入居申込みをした場合、その公開抽選に当たり、抽選回数を優遇します。	申込30件のうち、15件に対し抽選回数の優遇を行った	申込30件のうち、15件に対し抽選回数の優遇を行った	-	-	-
41	就学前	継続	真庭市里山定住促進事業（出張里山の日）	地域みらい創生課	森の日の実証を経て、幼少期から里山に触れ、地域への愛着と誇りを醸成する事を目的に「将来の定住促進、地域社会を担う人材の育成」の定住促進事業を実施します。	市内こども園を対象に、地域への愛着と誇りを醸成するための里山自然体験を実施します。	13園実施 延992人参加	【昨年度実績】 8園実施 170人参加	2,013	0	2,000
42	小・中学校	継続	真庭市里山留学事業（移住促進）	地域みらい創生課	事業の一部に里山に日事業を組み込み、将来の移住者のため関係人口の増加を目的に「将来の移住の促進、地域社会を担う人材の確保」の移住促進事業を実施します。	短期と中期の里山留学を継続しつつ、年間を通じての長期里山留学を実施します。	長期留学生3名（中和小学校）	【昨年度実績】 長期留学生1名（中和小学校）	9,950	0	9,950
43	結婚	拡充	新婚さんバックアップ事業	地域みらい創生課	結婚を機に引っ越した場合の引っ越し代、家賃、新築・改修費用を補助します。 令和7年度から対象世帯や対象経費など要件を拡充します。	新婚生活を始めるための費用を応援することで、少子化対策につなげます。	賃貸：37件 新築：4件、改修：4件 購入：2件 家電購入：4件	【昨年度実績】 賃貸：52件 新築：5件、改修1件 購入：4件	20,600	3,000	23,600
44	小学校	継続	小学生に対する防災教育等への協力	危機管理課	小学生に対する防災教育等に活用できるよう、防災パンフレットの提供を行います。	教育委員会を通じて防災パンフレットを提供し、小学校による児童に対する防災教育等に活用いただきます。	各小学校へ合計416部配布	同左	-	-	-
45	小・中学校～高校	拡充	教育魅力化推進事業（高校魅力化推進）	教育総務課	郷育魅力化コーディネータを配置し、地域の活動を学校での生きた学びに活かしていくとともに、これまでの総合学習、探究学習での地域講師との調整や授業サポートに取り組みながら、小中高・園・家庭・地域までを包括した伴走支援体制を構築します。 拡充メニュー： ・都市部大規模商業施設での高校 P R イベントの実施 ・小高連携（高校が小学校に対する体づくり指導支援） ・高大連携（岡大教育学部との交流） ・資格取得支援 ・海外短期留学・国内視察研修支援 ・全国募集用 P R サイト運営 ・部活動連携支援 ・スタートアップ企業ビジネスアイデア実践	郷育魅力化CDを活用した地域へのアウトリーチにより、学校、家庭、地域をつなぐ伴走支援を実施します。 魅力化に取り組む市内高校を支援し、高校入学者数の増加を目指します。	①10/11開催 ③8/9岡山大学での交流企画に22名が参加 ④2校3校地において実施中 ⑤7/19～8/1で実施し、2校3校地から15名が参加 ⑥サイト運営及びオンライン説明会に4回×各5名(世帯)参加。8/23-24東京合同説明会40組対応 ⑧真庭高校経営ビジネス科1年、食農生産科1年 計47名参加(8回実施予定)	①10/11開催 ③8/9岡山大学での交流企画に22名が参加 ④2校3校地において実施中 ⑤7/19～8/1で実施し、2校3校地から15名が参加 ⑥サイト運営及びオンライン説明会に4回×各5名(世帯)参加。8/23-24東京合同説明会40組対応 ⑧真庭高校経営ビジネス科1年、食農生産科1年 計47名参加(8回実施)	52,284	1,595	50,000

NO	ステージ	区分	事業名	担当課名	事業概要	実施内容	1月時点での	年度末の	R7当初 予算額(千 円)	R7.6補予算 要求額(千 円)	R7実績見込 額 (千円)
							実施状況 (人数・回数・件数・建設数等)	実績見込 (人数・回数・件数・建設数等)			
46	小・中学校	継続	小中学校等のICT化推進事業	教育総務課	セキュリティ対策が施されたアプリを用いて①保護者から学校への欠席等連絡②学校から保護者家庭への情報発信③学校活動及び学校運営に関する情報の閲覧に関する利便性向上を進めます。	学校と保護者の連絡ツールとして円滑に運用できるよう、学校での研修を行うとともに、保護者への周知を図ります。	小中学校保護者のほぼ全員と、学校運営協議会等関係者への連絡ツールとして、利用が定着している。1日当たりの連絡件数は26小中学校で200件超となる。	引き続き連絡ツールとして活用する。新入生の連絡についても対応する。	2,799	0	2,799
47	小・中学校	継続	学校給食地産地消推進事業	教育総務課学校給食推進室	地元食材を学校給食で提供することを通じ、郷育を推進するとともに地元食材の生産者の振興を図り、安全安心な学校給食の安定供給を目指します。	真庭食材の日を年3回開催。 真庭特産品プラスワンの日を年6回開催。	真庭食材の日：3回実施 プラスワンの日：6回実施	真庭食材の日：3回 プラスワンの日：6回	6,000	0	6,000
48	小・中学校	継続	生理用ナプキンスクール事業 (市内小中学校トイレに生理用品設置)	学校教育課	児童生徒が必要な時に生理用品を利用できるよう、市内小中学校のトイレに生理用品を設置します。	様々な理由から生理用品の確保が難しい場合や、急に必要になったときに持ち合わせていない場合でも、不安を感じることなく、安心して学校生活を送ることができます。	小中学校全26校へ配布完了	小中学校全26校へ配布完了	197	0	136
49	小・中学校 ～高校	継続	よみたい、しりたい、こども応援事業	生涯学習課 図書館振興室	①児童・生徒が学校で公共図書館の本を予約、受け取り ②自動車文庫の高校巡回 ③市立図書館で児童生徒への利用教育を実施します。	公共図書館が遠く本を借りるのが困難な児童生徒にも公平な読書環境を提供することができます。	①4,429冊 ②1回 ③9回	①6,000冊 ②1回 ③10回	676	0	467
50	小・中学校	継続	地域学校協働本部事業	生涯学習課	「学校を核とした地域づくり」を目的に地域と学校が連携協働する地域学校協働活動を実施します。	市内全域の地域学校協働活動推進員を対象とした研修会を年2回以上開催します。	・6/6と10/14に研修会を実施 ・市内推進員33名の合計活動時間690時間	・2月に研修会を実施予定 ・市内推進員33名の合計活動時間900時間を予定	11,386	0	11,386
51	小・中学校	継続	放課後こども教室事業	生涯学習課	主に長期休業中におけるこどもたちの体験・交流活動を地域の実情に応じて実施します。	北房・落合・美甘・湯原で実施します。 (久世・勝山は公民館講座で実施)	放課後子ども教室の実施回数 北房40回、落合6回、美甘5回、湯原5回	放課後子ども教室の実施回数 北房60回、落合8回、美甘9回、湯原7回	702	0	702
52	就学前～高校	継続	こどもの居場所づくり支援事業 (あそびの機会づくり)	生涯学習課	子どもが自由で自発的に遊ぶことができる遊びの機会をつくるとともに、見守ることができる大人を増やし、世代を超えた大人のネットワークを育みます。	あそびに関する研修会等を開催し、年100人程度参加者数を目指します。	11月にこどもまんなかまつりにおいて屋外遊びイベントを開催。1月18日に講演会を開催予定。	11月にこどもまんなかまつりにおいて屋外遊びイベントを開催。1月18日に講演会を開催予定。	5,603	0	5,603

## R8年度「こどもはぐくみ応援プロジェクト2026」候補事業（R8.1まとめ）

NO	ステージ	事業名	担当課名	事業概要	実施内容	R8事業実施	R7当初・6補 合計額(千円)	R8予算要求額 (千円)
<b>1. 相談支援</b>								
1	15歳～30歳	<b>若者・青少年支援（相談窓口）</b>	くらし安全課	若者が安心して気軽に相談できる相談窓口を設置 支援のすき間を埋め、課題の早期発見・対応を図る 民間団体の柔軟な対応力を活かし、市や関係機関と連携した地域全体の支援ネットワーク強化	民間団体へ委託し、外部相談窓口を設置 一次相談窓口として課題を把握し、内容に応じて市役所・関係機関へ連携	新規	-	1,020
2	就学前～高校	<b>発達発達支援センター事業（相談体制の充実等）</b>	障がい者・児発達発達支援センター	発達や発達、集団生活での適応など社会生活で困りを持つ方の相談に応じる。相談支援・通所支援・家族支援により、トータルライフ支援を行います。	相談支援・通所支援・家族支援を柱に、地域に出向く巡回訪問・巡回相談や、園や学校との連携の強化、一人一人の発達段階に応じた個別療育の充実を図ります。	継続	14,479	14,084
3	妊娠・出産期～高校	<b>こども家庭センター（通称：はぐくみセンター）事業</b>	こども家庭センター	改正児童福祉法により、令和6年度から子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点を統合し設置。保健師、社会福祉士、心理士等多職種の専門職を配置し、妊娠期から子育て期の伴走型の切れ目ない相談支援を行います。	母子保健・児童福祉両部門の連携・協働を深め、妊婦・乳幼児の健康維持や育児・子育ての相談支援、虐待の予防・対応など、個々の家庭に応じた丁寧な支援を行っています。	継続	-	-
4	妊娠・出産期～小・中学校	<b>真庭市はぐくみアプリ（母子手帳アプリ）</b>	こども家庭センター	①母子健康手帳機能：成長記録、予防接種のスケジュール管理等 ②地域の子育て情報機能：利用者の属性により情報提供、子育てイベント情報、施設情報等 ③予防接種DX：予防接種の予定を確定後、電子予診票の入力を実施等	・必要な人に、必要な情報が、必要なタイミングで届く ・予防接種等の手続きに係る保護者の負担軽減 ・業務の効率化	継続	1,459	1,459
5	妊娠・出産期～高校	<b>子育てオンライン相談（LINE等）</b>	こども家庭センター	妊娠・出産・子育てに関する相談をスマートフォンなどを使用し、LINEで相談を受ける。随時、子育ての情報を配信します。	LINE相談については随時回答するとともに、振興局保健師と連携を図る。又、月に数回程度、市の育児イベントや育児情報等について配信します。	継続	488	488
6	妊娠・出産期	<b>まにわパパママクラス</b>	こども家庭センター	妊婦やそのパートナーが妊娠・出産・育児に必要な知識を助産師から学んだり、ほかのパパママたちとの交流・友達づくりができる場を開催します。	1クール3回コース×3クール開催 以降出産予定の方及び妊娠届出時に案内	継続	379	232
7	妊娠・出産期～就学前	<b>母子保健コーディネーター相談支援</b>	こども家庭センター	妊娠や出産、子育てのさまざまな相談に応じ、必要なサービスを紹介する等、安心して妊娠や出産、育児ができるよう応援します。	母子保健コーディネーター2名体制で相談対応	継続	9,503	10,318
8	就学前	<b>赤ちゃん訪問（保健師・助産師）</b>	こども家庭センター	保健師・助産師が生後4か月までの乳児（未熟児含む）のいる家庭を訪問し、母子の健康状態の確認と子育て支援に関する情報提供等を行います。	4か月までの乳児のいる家庭に保健師又は助産師が全戸訪問します。	継続	144	236
9	就学前	<b>育児相談（保健師・栄養士）</b>	こども家庭センター	乳児、幼児の発育を確認するとともに、育児についての正しい理解を深め、母子の健康の保持増進を図ります。	市内7箇所です約2か月に1回育児相談を実施 保健師、助産師、栄養士、看護師等で子育て・栄養相談、身体計測を行います。	継続	257	206
10	ライフステージにかかわらずない支援	<b>ひとり親家庭就労相談支援</b>	こども家庭センター	ひとり親家庭に対しハローワークと協働し条件に合う就労支援を行います。	・児童扶養手当の現況届提出時期にあわせ、真庭市にハローワークが出張し相談窓口を設置 ・年間通して相談対応	継続	-	-
11	就学前	<b>愛育委員のこんにちは赤ちゃん訪問</b>	健康推進課	絵本を通して親子のふれあうことを目的に愛育委員がブックスタートの本を持って赤ちゃん訪問を行います。	3～4か月頃を目安に愛育委員が赤ちゃん訪問を行い、ブックスタートを勧めます。	継続	180	171
12	就学前	<b>愛育委員による親子交流事業</b>	健康推進課	北房、落合地域では、乳児と母親を対象にベビーマッサージを、久世地域では、就学前のお子さんと保護者を対象に愛育サロンを、勝山地域では、つどいの広場の集まりに合わせて親子の交流事業を開催します。	愛育委員が各地域で子育て支援ができるよう、つどいの広場や各振興局の保健師と連携を取りながら行います。	継続	-	-
13	就学前～高校	<b>食育推進ボランティアによる食育教室</b>	健康推進課	子育てサロン等の集いの場、こども園、保育園、幼稚園の保育施設および小学生が集いの場等において、食育推進ボランティアが中心となり「食の体験活動（食育活動）」を通じて、健全な食生活の実現につなげます。	就学前から食育推進ボランティア（栄養委員）による食育体験ができるよう、保育施設や学校等と連携した取組を行います。	継続	1,971	1,742
14	就学前～高校	<b>家庭教育支援事業</b>	生涯学習課	真庭市家庭教育支援チームを設置し、身近なエピソードや資料等をもとに参加者同士が交流しながら学ぶ機会を提供しています。	「おしゃべり広場ふらっと」をくせ活き生きサロン等で毎月開催 市内園小中学校の入学説明会や参観日、子育て支援団体等に親学習の機会を提供します。	継続	866	948

NO	ステージ	事業名	担当課名	事業概要	実施内容	R8事業実施	R7当初・6補 合計額(千円)	R8予算要求額 (千円)
<b>2. 出産・育児・生活の支援</b>								
1	就学前～高校	<b>医療的ケア児訪問看護レスパイト事業</b>	障がい者・児発達発 育支援センター	在宅の医療的ケア児の看護や介護を行う家族の負担軽減、休息時間の確保などを目的に医療保険適用を超える訪問看護をうけた場合にその費用の一部を助成します。	医療保険の適用を超える訪問看護療養費30分当たり上限3,500円を補助します。(月4時間年間48時間を上限)	継続	1,053	1,048
2	妊娠・出産期～就 学前	<b>はぐくみサポーター派遣事業</b>	こども家庭センター	妊娠期から出産後の体力が回復するまでの間(母子手帳交付から産後1年未満)、はぐくみサポーターによる家事支援・育児支援を行います。	産前産後の育児の支援、子育て等に関する不安や悩みの傾聴相談、地域の母子保健・子育て支援施策等の情報提供をする。	継続	457	510
3	妊娠・出産期～就 学前	<b>産後ケア事業 (日帰り型・宿泊型・訪問型)</b>	こども家庭センター	産後1年未満のお母さんとお子さんが、医療機関や助産院等に宿泊または日帰り利用することにより、お母さんとお子さんのケアや授乳指導、育児相談が受けられる。12回までは助成が受けれます。 また、ご自宅でのケアを希望する方には、助産師が自宅に訪問し、お母さんの母乳ケアや沐浴、授乳などの育児指導、お子さんの体重栄養チェック等を行います。 令和7年度から次のとおり制度を拡充します。 ① 兄弟及び4ヶ月以降児の加算額を追加、多胎児加算額の拡充 ② 里帰り出産への対応として、未契約の医療機関での利用等に償還給付を導入 ③ 利用期間を、妊娠中からに拡充(宿泊型除く) ④ 初回利用時に市内3施設のいずれかの利用は無料 ⑤ 市内3施設の本来額まで、委託料の上限を引き上げて利用者の自己負担額を軽減	産後1年未満のお母さんとお子さんが、医療機関や助産院等に宿泊または日帰りでの休息、または助産師の訪問による相談を利用することにより、お母さんとお子さんのケアや授乳指導、育児相談等が受けられる。生後1年未満に宿泊・日帰りを合わせて12回まで、訪問は5回まで利用可能です。 (日帰り型及び訪問型は親子健康手帳交付から利用可能)	継続	3,125	4,850
4	産後	<b>産婦健診</b>	こども家庭センター	産後の体調や育児の状況を確認するため、産後8週間以内に委託医療機関で、2回受けることができます。	産後8週以内の母の体調や育児の状況を確認し、安心して親子ともに健やかに過ごすことができ、医療機関が必要時治療や支援につながります。	継続	2,177	2,025
5	就学前	<b>乳幼児健診</b>	こども家庭センター	乳幼児の病気の早期発見と予防、及び健康の保持増進のため医師、歯科医師、歯科衛生士、臨床心理士、保健師、栄養士、看護師等が連携して健診を行います。	3～4か月児健診、9～10か月児健診、1歳6か月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診を年50回実施する。 身体計測、保健相談、内科・歯科診察、ブラッシング指導、心理相談、尿検査、栄養相談、目の屈折検査等を行います。	継続	7,447	6,645
6	就学前	<b>離乳食教室</b>	こども家庭センター	保護者の困りや不安感の解消、生活リズム、食習慣及び間食等について、管理栄養士・栄養士が中心となり、こどもの成長や発達状況に応じた支援を行います。	初期コース、中・後期コースいずれも6回ずつ開催予定。 こどもを対象に食に関する体験ができ、保護者の困りや不安感の解消になります。	継続	65	231
7	就学前	<b>新生児聴覚検査 (費用の助成)</b>	こども家庭センター	生後1年未満の乳児に対し、医療機関委託で新生児聴覚検査を実施し、費用の一部助成します。	岡山県内の産科医療機関及び県外の契約医療機関で出生後に検査を実施します。県外で出生された子どもさんへも受診を促します。	継続	610	597
8	妊娠・出産期	<b>妊婦・パートナー歯科健診 (自己負担の無料化)</b>	こども家庭センター	妊婦及びパートナーに対し、市内歯科医院委託で歯科健康診査を実施します。	市内歯科医院へ委託。歯科医院で歯科健診、歯科保健指導、リーフレットを用いて歯科疾患がもたらすこどもへの影響を説明します。	継続	502	502
9	妊娠・出産期	<b>妊婦・乳児健康診査事業</b>	こども家庭センター	①妊婦健康診査 妊婦が心身ともに健康に過ごすために、妊婦健康診査を無料で実施する。 ②乳児健康診査 乳児が心身ともに健康に過ごすために健康診査を無料で、新生児聴覚検査を一部負担で実施する。	①妊婦健康診査 妊婦の体調を確認することで、安心して健やかに過ごすことができ、医療機関が必要時治療や支援につながります。 ②乳児健康診査 乳児の体調を確認することで、安心して親子ともに健やかに過ごすことができ、医療機関が必要時治療や支援につながります。	継続	25,524	24,421

NO	ステージ	事業名	担当課名	事業概要	実施内容	R8事業実施	R7当初・6補 合計額(千円)	R8予算要求額 (千円)
<b>3. 経済的支援</b>								
1	妊娠・出産期～就 学前	<b>妊婦等に対する遠方の医療機関への移動 支援</b>	こども家庭センター	遠方の産科医療機関等で受診する妊婦健診にかかる交通費の8割を助成します。 また、分娩のために遠方の産科医療機関または周産期母子医療センターに移動し、宿泊する場合の交通費について8割と1泊あたり2,000円を控除した宿泊費を最大14泊まで助成します。	最寄りの産科医療機関等が遠方である場合に、妊婦健診や分娩のための移動等にかかる費用を助成し、経済的負担の軽減と施設までのアクセスを確保します。また、令和8年度は、対象を不妊・不育治療のための移動にかかる費用を拡充して助成します。	拡充	1,218	2,550
2	就学前	<b>保育所等への給食食材費助成</b>	子育て支援課	市内の公立園、私立園、事業所内保育所、認可外保育施設に対し、物価高騰対策のため給食食材費の一部を助成します。	市内の公立園、私立園、事業所内保育所、認可外保育施設へ食材費の一部を助成することにより、園運営の負担を軽減し、引き続き入園児へ安心・安全な給食を提供する事ができます。	継続	17,770	17,191
3	就学前	<b>保育園等物価高騰対策支援事業</b>	子育て支援課	私立の保育施設に対し、物価高騰対策のため電気等エネルギー使用料の一部を助成します。	私立の保育施設の負担軽減措置を図ることで、安定したサービスの提供が継続できます。	継続	1,290	1,290
4	就学前	<b>保育料の減免・無償化 (第3子以上)</b>	子育て支援課	ひとり親世帯などに該当する場合や第3子以降については保育料の減免や無償化を行います。	申請のあった該当世帯へ減免等	継続	25,415	12,495
5	ライフステージにかかわらない支援	<b>ひとり親家庭への養育費確保支援</b>	こども家庭センター	ひとり親に対して、養育費に関する公正証書等の作成について1件あたり30,000円以内、養育費確保のための強制執行について1件あたり100,000円以内の必要な経費を助成します。	養育費支払いの履行	継続	250	260
6	ライフステージにかかわらない支援	<b>ひとり親家庭への就業支援にかかる給付金</b>	こども家庭センター	ひとり親家庭の父母に対し、就職に有利かつ生活の安定に資する資格を取得するため、養成機関で修業する期間に高等職業訓練促進給付金を支給し経済的な支援を行います。 R7年度はひとり親家庭の父母が教育訓練講座を受講する場合にその経費の一部を支援し、職域の拡大や自立の促進を図るため自立訓練給付金事業を追加します。	教育訓練の受講に係る経費の一部負担を行い、主体的な能力開発の取り組みを支援し、自立促進を図ります。 児童扶養手当現況届の際などに、資格取得の意向がある方に対し、当該事業について周知します。	継続	1,970	1,970
7	妊娠・出産期～就 学前	<b>出産・子育て応援はぐみ給付金事業</b>	こども家庭センター	妊娠時と出産時に応援金を給付し、経済的負担を軽減します。(妊娠時、出産時それぞれ5万円給付+伴走型支援)	伴走型相談支援との一体的な実施により、必要に応じた支援に繋がります。	継続	20,000	19,000
8	妊娠・出産期	<b>低所得妊婦初回産科受診料助成事業</b>	こども家庭センター	低所得家庭の妊婦に対して、妊娠の診断を受けるために医療機関を受診する際の初回費用を助成し、経済的負担を軽減します。1回あたり1万円を上限	1回あたり1万円を上限とし、年度内2回まで	継続	50	20
9	妊娠・出産期	<b>不妊・不育治療支援事業</b>	こども家庭センター	不妊症・不育症のため、子どもを持つことができない夫婦に対して、治療費の助成を行い、経済的負担を軽減します。	不妊症は上限20万円、不育症は上限30万円とし、治療費を助成します。	継続	5,500	5,500
10	出産期	<b>未熟児養育医療給付事業</b>	こども家庭センター	出生時体重が2,000g以下などで、身体の発育が未熟なまま出生し、医師の判断で、「入院治療が必要」とされた場合に、養育医療に要する費用を支給するもの。また、患者世帯の所得状況により、一部負担金を徴収する。	未熟児の生後に速やかに適切な処置をすることで、疾病、心身への障害、死亡を防ぎます。	継続	1,585	1,165
11	妊娠・出産期	<b>若年がん患者妊孕性温存治療支援事業</b>	健康推進課	生殖機能に影響するおそれのある治療を受けるがん患者に対して、治療費(妊孕性温存治療)の助成を行い、経済的負担を軽減します。	申請のあった医療保険外の妊孕性温存治療を受けた方への治療費の助成を行います。	継続	255	255
12	高校	<b>市内就職を志す看護学生への奨学金</b>	健康推進課	看護師養成所に在学する者のうち(大学含む)、真庭市内の医療機関に就職を希望する者に対して奨学金のを貸付事業を実施します。(返還免除あり)	奨学金支給を希望する学生を募集	継続	9,780	8,160
13	就学前～高校	<b>こども医療費無償化</b>	市民課	こども医療費給付事業において、令和5年6月診療分から対象年齢を高校生世代(満18歳)までに拡充し、無償で医療(入院・通院とも)を受けられます。	医療費無償化の対象年齢を高校生世代まで拡充し、保険診療にかかる医療費無償化により、安心して医療機関等を受診できます。	継続	195,056	193,758
14	高校	<b>高校生・大学生等への奨学金</b>	教育総務課	高校及び大学等の進学支援として奨学金の貸付事業を実施。奨学金利用者で市内就職等を行った者に借入額の最大2分の1を限度に奨学金返還免除を行います。	より多くの奨学金利用者へこの制度の周知を図るため、返還金納付書を送付する際にPRをします。	継続	12,960	10,200
15	就学前～小・中学 校	<b>小中学校等の給食費への助成事業 (物価高騰に伴う緊急支援)</b>	教育総務課学校給食 推進室	給食材料費の仕入れ価格の高騰の影響により学校給食費を値上げする状況にあり、保護者の急激な経済的負担を押さえるため、学校給食費を据え置くとともに学校給食の質を維持するため、市費による食材費高騰分の補填をします。	食材費の実質高騰分1食当たり50円の補填による適正な栄養価の給食の維持を図ります。	継続	29,093	9,263
16	結婚	<b>新婚さんバックアップ事業</b>	地域みらい創生課	結婚を機に引っ越した場合の引っ越し代、家賃、新築・改修費用を補助します。 令和7年度から対象世帯や対象経費など要件を拡充します。	新婚生活を始めるための費用を応援することで、少子化対策につなげられます。	継続	23,600	23,700

NO	ステージ	事業名	担当課名	事業概要	実施内容	R8事業実施	R7当初・6補 合計額(千円)	R8予算要求額 (千円)
<b>4. 子育て環境整備</b>								
1	ライフステージにかかわらない支援	<b>こどもまんなか社会創造事業</b>	総合政策課	「こどもまんなかのまちづくり」 こどもたちが自らの思いを大切に、地域の中でのびのびと成長していけるよう、家庭や学校、地域が一体となって尊重し、支え合う環境を整えていきます。そのために、丁寧な人と人とのつながりを育みながら、こどもの権利についてともに考え、実現していく運動を広げていきます。 こどもをまんなかに位置づけたまちづくりを進め、すべての世代が互いを尊重し合い、誰もが生きがいや幸福を実感できる社会の実現を目指すため、こども一人ひとりの権利を尊重し、こどもと大人が共に学び、共に活動し、こどもの権利に関する条例を制定します。	●1年目 土壌づくりと種まき – 声を集める・大人のマインドセット転換– ①「こどもガヤガヤ会議」の開催→ まちでやってみてみたいことをひたすら集める ②大人向けワークショップの実施→ 権利=わがままではなく、挑戦を支える力であると共有 ③子どもの実態把握→ 制度の外にある声を拾う ④意見の整理・見える化→「言ったら変わる」経験をつくる	新規	-	7,073
2	高校生	<b>高校サテライトキャンパス推進事業</b>	高校魅力化推進担当	高大民連携による多様な学びの場を創出することで、市内高校の魅力を向上させる。	・運営体制構築 ・地域創生ワークショップ計画策定 ・大学連携魅力あるプログラム実施計画策定 ・試験試行と検証	新規	-	13,791
3	高校生	<b>ロールモデルづくり</b>	くらし安全課	東大の団体「ユア・チョイス・プロジェクト」を招聘して、地域やジェンダーに関係なく、進路を選択することを考える	市内高校でのワークショップ実施（教育総務課連携） ロールモデルの紹介（市民向け）	新規	-	151
4	就学前～高校	<b>鉄道乗り方教室事業</b>	くらし安全課	移動手段として鉄道利用方法、真庭市の公共交通利用方法を学ぶ機会をつくり、将来の地域交通利用へつなげます。	募集型、出前講座型の教室を開催します。鉄道内容の教室ではJR西日本の協力を得ます。	新規	-	-
5	中学校～高校	<b>フューチャーデザインプロジェクト事業</b>	地域みらい創生課	地域イベントに参加したいが、恥ずかしい等で一歩が踏み出せない中高大生を後押し、地域との関わりをきっかけを作り、地域活性化や関係人口増加につなげていく。	地域イベント（地域の清掃活動やごみ拾い、お祭りや伝統行事の手伝い等）に参加するきっかけづくりとして、1イベント活動に参加した場合、1人「500まにい」を贈呈	新規	-	1,000
6	ライフステージにかかわらない支援	<b>こどもはぐくみ応援事業</b>	子育て支援課	育児がしやすい社会の実現のための理解促進に取り組むことで、「みんなではぐくむ子育てのまち」の実現のための機運醸成を図ります。 令和8年度は引き続きこどもまんなかまつりや座談会、屋内巡回遊び場の実施、真庭市が実施する施策及びこども・子育て情報を集約し、市民インフルエンサーや動画作成、子育て支援施策のチラシを作成や公園などのこどもの居場所マップなどで発信します。 また、公共施設を活用した居場所の整備やこどもの参画やこどもにやさしいまちづくりの先進事例の収集を新たに行います。	「みんなではぐくむ子育てのまち」を実現するため、地域全体で子育てを応援する機運を醸成します。 また、「住み続けたい」と感じてもらえるよう、子育て世代をメインターゲットに、こども・子育て支援に関わる事業や欲しい情報を効果的に発信します。	拡充	8,574	10,376
7	小・中学校	<b>芸術アウトリーチ事業</b>	スポーツ・文化振興課	芸術アウトリーチ事業の一環として、音楽やダンス、狂言などの体験授業を真庭市内の小・中学生を対象に実施。また、子どもだけではなく、親世代へも同様に体験の場を創ります。	小・中学生を対象に、質の高い舞台・映像芸術や音楽文化などに触れる機会を提供することで芸術への関心を高め、芸術に対する感性や能力を育成し、豊かな人間性を育みます。また、団体や企業などへのアプローチを行い、親世代の関心も高めます。	拡充	6,785	7,745
8	妊娠・出産期～高校	<b>空き家活用推進事業</b>	まちづくり推進課	3年以上居住する意思を持ち空き家を購入する人に対して、空き家購入費および改修費用の一部を補助します。 子育て支援に資することを目的に、同世帯の子（23歳未満の子をいう）を養育している場合、1人あたり5万円を加算します。	子育て世代の負担を軽減し、こども・子育てを応援する社会的機運を醸成することができます。	拡充	44,000	54,400
9	小・中学校	<b>放課後こども教室事業</b>	生涯学習課	主に長期休業中におけるこどもたちの体験・交流活動を地域の実情に応じて実施します。	北房・落合・久世・勝山・美甘・湯原で実施します。 （久世・勝山は公民館講座で実施）	拡充	702	1,116
10	小学校	<b>親子で学ぶ平和学習プログラム平和推進事業</b>	総務課	次世代を担う市内の小中学生とその保護者を対象として、被爆地・広島を訪れ、原爆の悲惨さや命の尊さを学ぶことを目的に、平和学習を行います。	広島市で8月6日に開催されるヒロシマ平和学習受入プログラムへ、真庭市の親子10組（20人）が参加して現地で交流するほか、平和祈念資料館などを見学し、平和新聞を作成します。	追加	1,049	534
11	乳児	<b>里山まにわからの贈りもの事業</b>	福祉課	出産時に木製おもちゃを贈り、木のぬくもりに触れ豊かな感性を育む子育てを支援します。また市内障がい者就労施設等の事業振興を図ります。	出生届提出時に、届出者に2種の木製おもちゃの中から1点を選んでもらい贈呈します。	追加	730	708

NO	ステージ	事業名	担当課名	事業概要	実施内容	R8事業実施	R7当初・6補 合計額(千円)	R8予算要求額 (千円)
12	小学生	放課後児童クラブ巡回相談アドバイザー派遣事業	子育て支援課	放課後児童健全育成事業において、子どもが安全・安心に過ごすことができ、質の高い育成支援を確保するための助言・指導等を行うため、巡回アドバイザーを派遣し、各クラブの運営及び保育の質の向上を図ります。	運営及び保育の質の向上を図ります。 ・運営：主に保護者会が運営しているため、労務管理（人材確保、支援員の処遇改善、賃金等）の助言等 ・保育：支援員へ保育内容及び保護者への対応等の助言等	追加	3,426	2,040
13	就学前	こども園等の再編整備促進	子育て支援課	老朽化しているこども園等を保育ニーズも考慮し、再編整備を行います。R7年度は、R9年度に開園を予定している新たな公立の認定こども園の建設工事、美甘こども園の移転工事、旧白梅保育園解体設計を行います。	市内園の老朽化等の状況を把握し、今後の方向性を検討し、計画的な事業実施を目指します。	継続	724,753	1,210,750
14	就学前～小学校	園庭であそぼう事業	子育て支援課	市内の公立こども園・保育園の園庭を休日開放する。	安全確保が可能な公立園の園庭を休日解放することで、主に就学前の子どもの遊び場として利用いただき、子育てに魅力のあるまちづくりを行います。	継続	7,293	-
15	ライフステージにかかわらずない支援	真庭ではたらく保育士新生活支援事業（保育士の就職支援）	子育て支援課	真庭市内の保育施設に新たに就職する保育職として働く方へ支援（補助金）を行います。	・真庭市内への就職促進 ・保育職の確保	継続	3,000	3,000
16	就学前	頑張る保育士応援事業（奨学金の一部返済補助等）	子育て支援課	奨学金を用いて保育士等の資格を取得し、真庭市内に就職した方へ、奨学金返済額の1/2（上限は年12万円）の補助を行います。	正規職員や認可外保育施設の勤務者も対象に含めます。	継続	2,214	2,300
17	就学前	民間認定こども園サロン事業	子育て支援課	民間園が実施する一時預かり及び地域子育て支援事業の運営費に対し補助金を給付します。	地域の子育て支援の量の充実や質の向上	継続	17,473	8,948
18	就学前	園児のおむつスッキリ事業（園での使用済みおむつ処理）	子育て支援課	園で使った園児のおむつを園が引き取ることで、保護者の方の持ち帰りの負担が軽減されます。また、保育士がおむつの仕分けをする必要がなくなり、園児と向き合う時間を増やすことができます。	園の規模に合わせたオムツ回収ボックスを整備しています。	継続	-	-
19	就学前	こども園等の施設改修	子育て支援課	既存のこども園等の改修を計画的に行い、適正な保育環境の整備を行います。	安全・安心、衛生面の充実を図ります。	継続	21,967	17,584
20	就学前	保育人材の確保促進事業	子育て支援課	令和5年度に引き続き養成課程のある学校へのリクルート活動、保育現場従事者の免許状の取得に係る費用の助成を行うことに加え、令和6年度から学生に真庭市の保育を知ってもらう体験の機会への交通費などを助成し、保育士を確保と市内の保育環境を向上を目指します。	保育の質の向上を図るため、包括連携協定の締結している大学等の学生に、真庭市の保育を知ってもらう機会を創ります。 リクルート活動：5月までに県内の養成校に対しリクルート活動を行います。	継続	318	381
21	就学前	一時保育サービス事業	子育て支援課	保護者の疾病や出産、看護等の理由により一時的に保育をすることが困難な方に、保育園等で一時的な保育を提供します。	前年度から引き続き、市内各園での預かりを行います。	継続	-	-
22	就学前～小学校	病児保育事業（市内2か所）	子育て支援課	子どもが病気の時、保護者が仕事等の都合で家庭での保育が困難な際に一時的に預かり保育する事業。（市内2ヶ所に委託）	2か所運営委託。令和4年度末に増設したため、周知啓発に努めます。	継続	19,063	17,440
23	妊娠・出産期～就学前	つどいの広場の運営	子育て支援課	就学前の乳幼児と保護者が気軽に集い、交流しあえる場所の提供します。	北房、落合、久世（2か所）、勝山、湯原、蒜山で開催	継続	32,675	33,066
24	小・中学校	放課後児童クラブの整備	子育て支援課	保護者が就労等の理由で昼間家庭にいない児童を放課後に預かり、児童の健全な育成を図るため、放課後児童クラブ専用スペースを確保するために必要な施設を整備する。	天津小学校区放課後児童クラブ移転工事設計を行います。	継続	19,866	19,072
25	就学前	事業所内保育所推進事業	子育て支援課	第3子児童の保育料を無償化する事業所内保育所へ補助します。	申請のあった市内の事業所内保育所へ補助金を交付します。	継続	1,440	2,040
26	就学前～高校	子育て短期支援事業	こども家庭センター	保護者の疾病、出産、育児疲れ、冠婚葬祭などの理由で一時的に家庭で子どもを養育することが難しくなった場合に、7日間を限度として児童養護施設（津山市・2か所）で子どもの預かりを行います。	津山市内の2施設に委託。振興局保健師や関係機関と連携し、支援が必要な家庭に情報を届けます。	継続	393	393
27	小・中学校～高校	いのちふれあい事業（中学校・高校）	こども家庭センター	中・高校生を対象にした、命の大切さを学ぶためのふれあい体験学習。各地域それぞれの方法で愛育委員と中・高校、健康推進課が連携して事業を行っています。	地域の愛育委員と一緒に中・高生が、講話を聞いて命の大切さを学んだり、妊婦体験や育児体験を行います。	継続	25	47
28	就学前～高校	J R 姫新線社会学習利用助成事業	くらし安全課	J R 姫新線を活用した社会学習に対し、乗車券購入費用の全額及び園・学校等から駅までの貸切バス等の運賃等の2分の1(上限5万円)を補助します。	公共交通機関である姫新線の利用体験を通じて、子どもたちの社会性を育みます。目標：年300人	継続	364	560
29	小・中学校	スポーツ少年団補助金事業	スポーツ・文化振興課	真庭市のスポーツ少年団の活動を支援し、もって青少年の健全育成及びスポーツの振興を図るため、市内のスポーツ少年団に対して補助金を交付します。	青少年の健全育成及びスポーツの振興を図ります。	継続	10,530	10,530

NO	ステージ	事業名	担当課名	事業概要	実施内容	R8事業実施	R7当初・6補 合計額(千円)	R8予算要求額 (千円)
30	小・中学校	地域スポーツ・文化推進事業	スポーツ・文化振興課	中学校の学校部活動が地域移行されるに伴い、地域において中学生がスポーツ・文化活動ができる場を確保できる体制づくりを行います。	学校部活動で実施している種目だけでなく、地域において生涯、継続的にいろんなスポーツや文化活動ができるような体制づくりを行います。	継続	20,303	23,288
31	就学前～小学校	小学校での馬とのふれあい体験	スポーツ・文化振興課	馬術をもっと身近に感じ、乗馬の楽しさを知ってもらうため、小学校で馬とのふれあい体験を実施します。	乗馬の楽しさや馬を知ってもらい、子ども達への情操教育の一端を担います。	継続	454	454
32	就学前～小学校	子どもと楽しむ音楽会	スポーツ・文化振興課	真庭市・岡山フィルハーモニック管弦楽団・真庭エスパス文化振興財団が連携し、気軽に初めてのオーケストラを親子で楽しんでいただくために実施します。	県内の楽団による演奏会として、クラシックコンサートに訪れる機会がない子育て世代や、その子どもたちに、気兼ねなくコンサートを楽しんでもらえるように実施します。	継続	500	500
33	就学前～小・中学校	小・中学生へのプレゼントコンサート	スポーツ・文化振興課	真庭市・岡山フィルハーモニック管弦楽団・真庭エスパス文化振興財団が連携し、市内の小・中学生にオーケストラを楽しんでいただくために実施します。	オーケストラを体験する機会を設けることで、子ども達への情操教育の一端を担います。	継続	440	440
34	小・中学校	こども映画祭上映会（文化活動補助事業）	スポーツ・文化振興課	子どもから大人までを対象とした映画祭を開催する。子どもも大人も楽しめる映画やエコロジーをテーマにした国内外の優秀な作品をセレクトし、上映を行うほか、作品に関連したゲストを迎え、ワークショップやシネマトークを開催します。	会場はビクトリアシアター（久世）と真庭市立中央図書館をメイン会場とし、より近い環境で映画に関わることの出来る機会を提供する。周辺地域と連携しながら、「まち」全体を楽しむことができる映画祭を目指します。	継続	1,890	1,701
35	小・中学校	小中学生向け起業家育成プログラム	産業政策課	小中学校におけるキャリア教育の充実を図り、地域の産業を支える人材の育成及び地域ビジネスの認知及び将来的な雇用拡大を目指すため、起業家育成プログラムを実施する	未来の産業人材の育成及びキャリア形成	継続	4,110	4,110
36	高校	高校生ビジネス講座受講支援	産業政策課	高校生のスキルアップを支援するため、プログラミング、デザインなどの講座の費用の一部を補助します。	高校生のスキルアップを支援することで、未来の産業人材を育成	継続	1,000	1,000
37	高校	高校生チャレンジ支援	産業政策課	地域課題をビジネスで解決することにチャレンジする高校生を後押しします。	高校生のチャレンジを後押しすることで、未来の産業人材を育成	継続	500	500
38	ライフステージにかかわらずない支援	女性キャリア開発調査事業	産業政策課	市内企業にヒアリングを行い、企業が求めるデジタルスキルはどのようなものか調査を行うとともに、女性に対してもアンケート調査を行い、デジタル講座の必要性や講座の内容について分析を行う。	市内企業及び女性への調査とデジタル講座開設に向けた準備	継続	14,916	1,342
39	就学前	企業内保育所推進事業（事業所内保育所等推進事業）	産業政策課	企業が設置する保育所等に地域枠を設けて設置企業従業員以外の乳幼児を受入れている企業所内保育所に対する補助を行います。（1人月額5千円）	設置企業従業員以外の乳幼児を受入れている企業所内保育所に対し、1人月額5千円の補助を行います。	継続	540	540
40	就学前～高校	安心して遊べる場の整備促進	まちづくり推進課	広く要望を募り、公民協働によるポケットパークを整備します。	公民協働によるポケットパークを整備し、子育て世代が安心して遊べる場を増やします。	継続	1,000	500
41	就学前～高校	市営住宅の優先入居	まちづくり推進課	子育て中の多子世帯（18歳未満の子を3人以上扶養する者）等又は小学生以下の子が1人以上いる世帯の市営住宅の入居に関して配慮が必要な方を優先的に市営住宅に入居できます。	多子世帯等又は小学生以下の子が1人以上いる者が市営住宅入居申込みをした場合、その公開抽選に当たり、抽選回数を優遇します。	継続	-	-
42	就学前	真庭市里山定住促進事業（出張里山の日）	地域みらい創生課	森の日の実証を経て、幼少期から里山に触れ、地域への愛着と誇りを醸成する事を目的に「将来の定住促進、地域社会を担う人材の育成」の定住促進事業を実施します。	市内こども園を対象に、地域への愛着と誇りを醸成するための里山自然体験を実施します。	継続	2,013	2,998
43	小・中学校	真庭市里山留学事業（移住促進）	地域みらい創生課	事業の一部に里山に日事業を組み込み、将来の移住者のため関係人口の増加を目的に「将来の移住の促進、地域社会を担う人材の確保」の移住促進事業を実施します。	短期と中期の里山留学を継続しつつ、年間を通じての長期里山留学を実施します。	継続	9,950	10,610
44	就学前～高校	地域防災力育成強化事業	危機管理課	真庭市防災講座（ジュニア防災教育）として、園・小学校・中学校・高等学校・学童を対象とした、講座等の実施及び講座等実施の支援を行います。	小・中学校および学童に対する防災学習授業、中学校の避難訓練支援、夏休み学童保育での防災学習など。	継続	675	660
45	小学校	小学生に対する防災教育等への協力	危機管理課	小学生に対する防災教育等に活用できるよう、防災パンフレットの提供を行います。	教育委員会を通じて防災パンフレットを提供し、小学校による児童に対する防災教育等に活用いただきます。	継続	-	50
46	小学校	こども防火管理者講習会	消防本部・予防課	小学3年生以上を対象に防火管理についての講習会を、各小学校にて座学45分、体験学習45分で実施します。	消防用設備や避難経路などの知識を習得し、子供達の力で少しでも火災の発生や被害を軽減できることを目的とした内容となっている。	継続	6	6
47	就学前～小学校	こども消防士育成プロジェクト	消防本部・予防課	5歳児以上を対象に、火災や各種災害の危険性などについての講習会を、各保育園にて1時間30分程度で実施します。	こども一人ひとりが災害時において、様々な行動により生き抜く力を身につけてもらうことを目的とした内容となっている。	継続	10	10

NO	ステージ	事業名	担当課名	事業概要	実施内容	R8事業実施	R7当初・6補 合計額(千円)	R8予算要求額 (千円)
48	小・中学校～高校	<b>教育魅力化推進事業 (高校魅力化推進)</b>	教育総務課	郷育魅力化コーディネータを配置し、地域の活動を学校での生きた学びに活かしていくとともに、これまでの総合学習、探究学習での地域講師との調整や授業サポートに取り組みながら、小中高・園・家庭・地域までを包括した伴走支援体制を構築します。	郷育魅力化CDを活用した地域へのアウトリーチにより、学校、家庭、地域をつなぐ伴走支援を実施します。 魅力化に取り組む市内高校を支援し、高校入学者数の増加を目指します。	継続	53,879	59,571
49	小・中学校	<b>小中学校等のICT化推進事業</b>	教育総務課	セキュリティ対策が施されたアプリを用いて①保護者から学校への欠席等連絡②学校から保護者家庭への情報発信③学校活動及び学校運営に関する情報の閲覧に関する利便性向上を進めます。	学校と保護者の連絡ツールとして円滑に運用できるよう、学校での研修を行うとともに、保護者への周知を図ります。	継続	2,799	2,799
50	小・中学校	<b>学校給食地産地消推進事業</b>	教育総務課学校給食推進室	地元食材を学校給食で提供することを通じ、郷育を推進するとともに地元食材の生産者の振興を図り、安全安心な学校給食の安定供給を目指します。	真庭食材の日を年3回開催。 真庭特産品プラスワンの日を年6回開催。	継続	6,000	5,400
51	小・中学校	<b>生理用ナプキンスクール事業 (市内小中学校トイレに生理用品設置)</b>	学校教育課	児童生徒が必要な時に生理用品を利用できるよう、市内小中学校のトイレに生理用品を設置します。	様々な理由から生理用品の確保が難しい場合や、急に必要になったときに持ち合わせていない場合でも、不安を感じることなく、安心して学校生活を送ることができます。	継続	197	-
52	小・中学校～高校	<b>よみたい、しりたい、こども応援事業</b>	生涯学習課 図書館振興室	①児童・生徒が学校で公共図書館の本を予約、受け取り ②市立図書館で児童生徒への利用教育を実施します。	公共図書館が遠く本を借りるのが困難な児童生徒にも公平な読書環境を提供することができます。	継続	676	494
53	小・中学校	<b>蒜山平和学習</b>	生涯学習課	市内小学校を対象に蒜山の戦争遺跡を見学し、平和について考える学習を支援する取組を実施します。	年間5校参加	継続	1,028	1,166
54	小・中学校	<b>地域学校協働本部事業</b>	生涯学習課	「学校を核とした地域づくり」を目的に地域と学校が連携協働する地域学校協働活動を実施します。	市内全域の地域学校協働活動推進員を対象とした研修会を年2回以上開催します。	継続	11,386	11,777
55	就学前～高校	<b>こどもの居場所づくり支援事業 (あそびの機会づくり)</b>	生涯学習課	子どもが自由で自発的に遊ぶことができる遊びの機会をつくるとともに、見守ることができる大人を増やし、世代を超えた大人のネットワークを育みます。	あそびに関する研修会等を開催し、年100人程度参加者数を目指します。	継続	5,603	6,095
						94	1,482,993	1,939,566

真庭市

# こどもはぐくみ 応援プロジェクト(案) 2026



～みんなではぐくむ 子育てのまちへ～



令和8年〇月



# 切れ目ないこども・子育て支援

真庭市では、令和5年度（2023年）から、こども・子育て関連施策をパッケージ化し、市政の最優先施策と位置づけ「こどもはぐくみ応援プロジェクト」に取り組んでいます。

具体的には、**相談支援、出産・育児・生活支援、経済的支援、子育て環境整備**の4つの分野で、**こどもの権利や幸せ**を守り、こどもの健やかな成長や自立を支援するための事業を実施しています。

市民のみなさんと共に大切にしたい考え

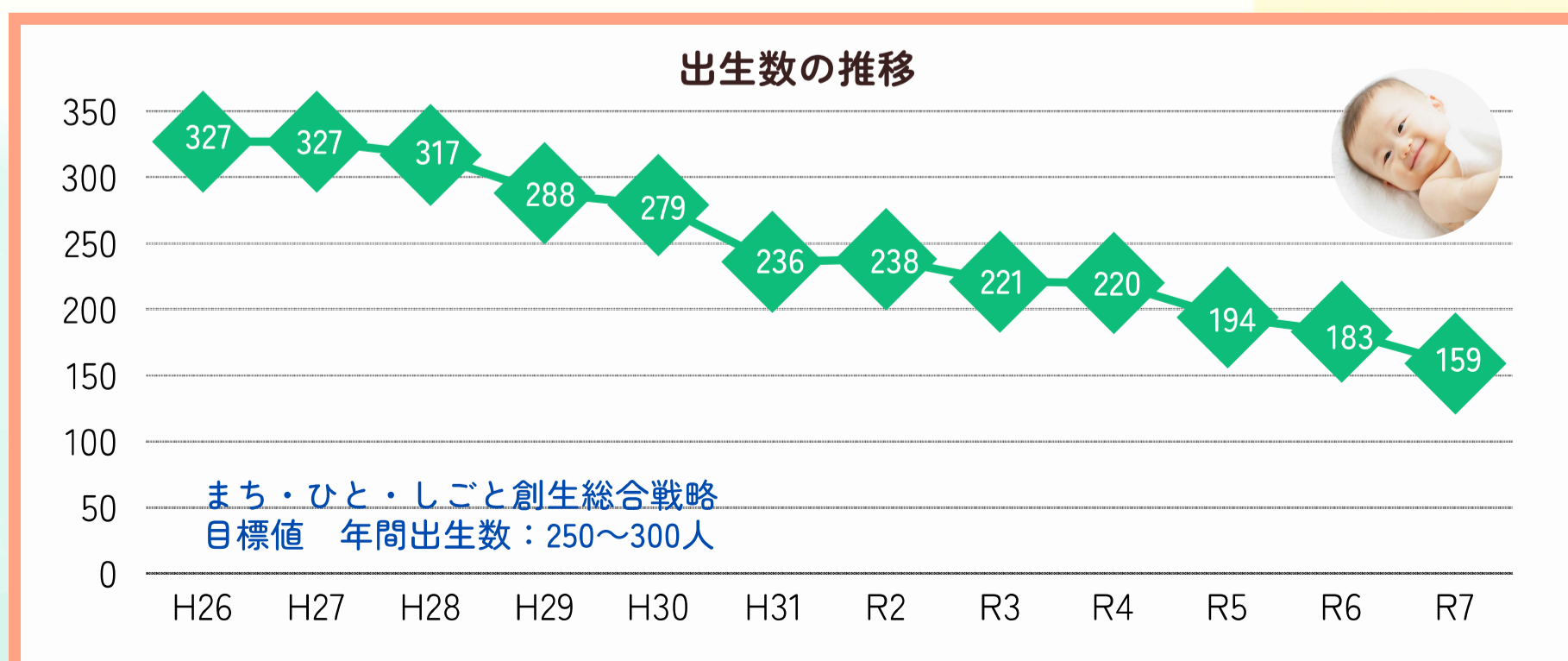
真庭市に生まれ、暮らす全てのこどもたちが、将来にわたって幸せに暮らすことができるまちを目指します。

こどもを産み、育てたいと願う全ての市民を応援し、子育てに夢や喜びを感じられるまちを目指します。

真庭市は次の考え方を基本として必要な施策を進めていきます

- ✓ こども・子育て施策は、持続可能な真庭市の実現に向け、最優先で取り組む施策です！
- ✓ 常にこども目線、こどもまんなかで取り組みます！
- ✓ 真庭に暮らすみなさんとともに、こどもの権利が守られるよう支え、はぐくんでいきます！
- ✓ ライフスタイルに応じた、切れ目ない総合的な施策を進めます！
- ✓ こども・子育て施策は市民ニーズを把握し、施策を進めていきます！
- ✓ 必要な政策は国等に先行して積極果敢に取り組めます！

## 真庭市の出生数



# 知っていますか？子どもの権利条約

(児童の権利に関する条約)

すべてのこどもに生まれながら「こどもの権利」がありだれもそれを奪うことはできません。こどもの権利を守るのはおとなです

子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）は、18歳未満のすべてのこどもが、自分らしく幸せに生きるために1989年に国連総会において採択された「世界共通の約束」です。こどもを単に「守られる存在」とするだけでなく、大人と同じ「権利をもつ一人の人間（主人公）」として尊重し、その尊厳を守ることを定めています。

## 子どもの権利条約の「4つの原則」

子どもの権利条約は全54条ですが、そのうち「一般原則」とされる基本的な考え方となる「4つの原則」があります。

### 1 差別の禁止 (差別がないこと)



すべてのこどもは、こども自身や親の人種や国籍、性、意見、障がい、貧困、経済状況など、どんな理由でも差別されず、条約の定めるすべての権利が保障されます。

### 2 こどもの最善の利益 (こどもにとって最もよいこと)



こどもに関することが決められ、行われる時は、「そのこどもにとって最もよいことは何か」を第一に考えます。

### 3 生命、生存、発達に対する権利 (命を守られ成長できること)



すべてのこどもの命が守られ、もって生まれた能力を十分に伸ばして成長できるよう、医療、教育、生活への支援などを受けられることが保障されます。

### 4 こどもの意見の尊重 (こどもが意味のある参加ができること)



こどもは自分に関係ある事柄について自由に意見を表すことができ、大人はその意見をこどもの発達に応じて十分に考慮します。

真庭市は、地域全体でこども一人ひとりが大切にされ、安心して自分らしく育つことができる社会をめざし、「**こどもの権利条例**」を制定します。こどもたちの声をまちづくりの中心に据え、市民のみなさんとともに「**こどもまんなか**」のまちづくりを進めていきます。

日本ユニセフ協会  
子どもの権利条約



日本ユニセフ協会  
子どもの権利条約に  
関する資料



# 真庭市こども計画（令和7年～11年）



この計画は、こども・若者（概ね30歳未満まで）、及び子育て世帯を対象とし、こどもたちが家庭や地域の中でかけがえのない存在として尊重され、自らの価値を認めながら成長できるまちを目指します。

「こどもは一人の人間として尊重される大切な存在」という想いをみんなで共有し、真庭ならではの豊かな自然や温かい人の輪の中で、こどもたちの成長をまち全体で応援します。

真庭市が  
取り組むこと



1

こども・若者の  
権利が尊重される  
地域の実現



2

乳幼児期から学齢期の  
教育・保育  
環境の充実

基 本 理 念

3

こども・若者の成長を  
地域全体で支援する  
環境の充実

家庭や地域の中で  
自分が大切な存在であることを  
実感することができる  
環境づくり  
～こどもがまんなか～

4

それぞれの状況に応  
じてサポートが必要な  
こども・若者及び  
家庭への支援

5

ワーク・ライフ  
バランスとこどもを  
生み育てるための  
環境づくりの推進

真庭市こども計画



令和7年（2025年）3月

真庭市



計画本編はこちら



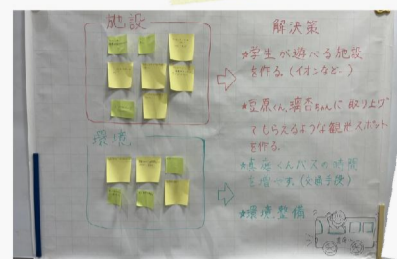
# こどもの声・大人の想い

## 高校生が考える「ずっと真庭がいい」と言える未来

「真庭の少子化、君たちのアイデアで解決プロジェクト」勝山高等学校鼓山塾ワークショップより  
(令和7年度実施)

### 1 世代を超えて話し合えるまち

いろいろな世代の意見を聞く場、  
大人も学び直せる「大人の塾」を作る



### 2 若い人が将来を考えやすいまち

子育て世代の給料を上げて、  
安心して暮らせるようにする



### 4 外から人が来るまち

お城や歴史的な景観をもっと活かす  
有名人に紹介してもらえるようなスポットを作る  
空き家を民宿やお店にして活用する



### 3 遊ぶ・集まる・楽しい場所があるまち

図書館付近にコンビニやフードコート  
市内にもっとごはん屋さんを作る  
複合商業施設を作る



### 5 車がなくても動けるまち

市内・市外両方のバスの本数・時間を増やす  
バス代を距離制にして安くする  
バスの運転士さんを増やす



## 女性が思う暮らしと将来について

高校生・市内出身大学生・市在住若年女性へのインタビュー調査より (令和7年度実施)

### 真庭市の魅力

人の温かさと  
地域の強い  
つながり

安心して  
暮らせる環境

こどもを  
育てやすい自然と  
温かい見守り

真庭市に対する愛着が強く、  
「住み続けたい」「いずれ戻りたい」  
という前向きな気持ちが  
世代を越えて見られる。  
ことがわかりました。

### 真庭市の課題

出産・子育て・  
教育機会の不安

利便性・交通の  
弱さ

仕事・雇用の  
選択肢が限られる

出会い・結婚の  
機会不足

経済面と固定的  
ジェンダー観の  
負担

## 支える人たちが感じた「まにわのこどもまんなか」

様々なこどもの居場所を運営する子育て支援者による座談会より（令和7年度実施）

### 見つけた「こどもまんなか」な現象

- ・ こどもたちが楽しく自由に居れた
- ・ こども自身がやりたいことを自発的に始めた
- ・ ママとこどもが孤立しないたくさんのつながり
- ・ 支援が必要な子に上級生の子が苦手な部分を理解して助けてあげれた
- ・ スポーツを一緒にすることでコミュニケーションの力をつけた
- ・ こども食堂をやりたい仲間が集まった
- ・ 「ここが居場所！」と言える中高生が出てきた
- ・ 高齢者が中心のサロンにこどもが参加し、多世代年齢の会話が生まれた など

### 「こどもまんなか」が生まれたきっかけ

- ・ 余白があった。大人が寛容だった。一緒に楽しむ。
- ・ 一人だけで楽しまない雰囲気づくり
- ・ 悩みの共有、情報提供することで新しい居場所に出会えた
- ・ いろんな子が一緒に過ごせる場だから
- ・ 大人の関わり方を見て学んでくれた
- ・ 会話をすることで視野が広がった
- ・ 美味しいといってもらえることが嬉しかった
- ・ その子の良さ、自由度を引き出した
- ・ 同じテーブルでの連帯感
- ・ 大人が「接続すること」を意識している など

### ～ 子育て支援者同士が考える共通点 ～

こどもの良さを引き出すために必要なこと

自然で居られる環境

こどもたちがやりたいことができる、居心地の良い

程よい距離感

大人が寛容でいることに必要なこと

人と人のつながりで知る

こどもが混ざる場づくりの勘どころは

食と遊び（混ざれる場所）

## 子育てママの日々の本音

市長と本音トーク！第3回こどもはぐくみくらぶ交流会より（令和7年度実施）

大人に真庭の魅力を伝えることが若者を増やすことにつながると思う

放課後児童クラブの希望者はみんな入れるようにしてほしい

産後ケアに助けられた。はぐくみセンターの人がいろいろ教えてくれた。LINEで気軽に相談できて、自分はひとりじゃないと思えた

こどもたちに選択肢が広がる未来をつくってほしい

蒜山の公園に遊具をつくってほしい

出身の市に比べて、真庭市の子育て支援は充実しているからもっと発信してほしい

在宅ワークできる仕事があるとうれしい



# 具体的な施策メニュー

真庭市では、インタビューやワークショップ、座談会の結果も踏まえながら、これまでの施策の充実強化のほか、新しい施策にも積極的に取り組みます。

令和8年度で取り組むプロジェクトの政策的な予算（当初予算案ベース）は、次のとおりです。

令和7年度  
89事業  
1,507,268  
千円

対前年度比  
約1.3倍

UP



令和8年度  
94事業

1,939,566  
千円



新規

6事業  
23,035  
千円

拡充

5事業  
76,187  
千円

追加  
継続

83事業  
1,840,344  
千円

★ 上記事業予算のほかにも  
こども・子育て施策の予算を  
確保しています

・障がい児通所給付費	139,124千円
・児童手当	780,060千円
・児童扶養手当	120,900千円
・保育施設等の運営費	1,293,629千円
・放課後児童クラブの運営費	205,139千円
・就学援助費	25,101千円
・特別支援教育就学奨励金	2,779千円 等

令和8年度  
一押し事業！

## こどもまんなか 社会創造事業

新規

こどもたちがまちでやってみたいことを聞いていきます！  
おとなたちが子どもの権利を理解するためのワークショップを開催します！

みんなが応援して  
くれたらうれしいな

やりたいことが  
やれるといいな

「こどもたちの笑顔があふれる

やさしいまち」であるために



Pick up

2026

# 育ちを応援する主な事業



新規

## 若者・青少年支援 (相談窓口)

若者が安心して気軽に相談できる相談窓口を設置し、課題の早期発見・対応を図ります。

新規

## 高校サテライト キャンパス推進事業

市内高校に通学する高校生向けに新しい学びの場を提供します。

新規

## ロールモデルづくり

進路の可能性を広げて選択することについて考え、そのロールモデルを紹介していきます。

新規

## 若者のための フューチャーデザイン プロジェクト事業

中・高・大生と地域との関わりのきっかけを作り、地域活性化や関係人口増加につなげていきます。

新規

## 鉄道乗り方教室事業

公共交通利用方法を学ぶ機会をつくり、将来の地域交通利用へつなげます。

拡充

居場所を増やします!

## こどもはぐくみ 応援事業

こどもまんなかまつり、屋内巡回あそび場のほか、公共施設を活用した居場所整備などを新たに行います。

拡充

不妊・不育治療の通院も支援!

## 妊婦等に対する 遠方の医療機関への 移動支援

健診・分娩や不妊・不育治療で遠方の産科医療機関等の受診にかかった交通費を8割助成します。

拡充

機会をさらに増やします!

## 放課後こども教室事業

こどもたちの体験・交流活動の機会を増やします。

拡充

大人も経験!

## 芸術 アウトリーチ事業

感受性・創造性をはぐくむ為の音楽やダンス、狂言などの小・中学生向け体験授業の機会を親世代にも創ります。

**拡充**



3年以上に  
緩和！

## 空き家活用推進事業

空き家購入費および改修費用の一部補助について、対象を3年以上居住する意思のある方に緩和します。

**追加**



質の高い育成  
支援を確保

## 放課後児童クラブ 巡回相談アドバイザー 派遣事業

巡回アドバイザーを派遣し各クラブの運営及び保育の質の向上を図ります。

**追加**



親子で学ぶ  
大切な時間

## 親子で学ぶ平和学習 プログラム平和推進事業

被爆地・広島を市内在住の親子で訪れ、原爆の悲惨さや命の尊さを学びます。

**継続**



充実の教育支援  
をします

## 教育魅力化推進事業 (高校魅力化推進)

園・学校・家庭・地域をつなぐ伴走支援、高校PRの実施、資格取得・海外短期留学支援、国内視察研修支援、大学との連携等をします。

**継続**



久世第二こども園  
(仮称)開所まで  
あと少し！

## こども園等の 再編整備促進

R9年度開園予定の新たな公立認定こども園の建設工事、美甘こども園の移転工事等を行います。

**継続**



ジャージー  
牛乳で育つ！

## 学校給食地産地消 推進事業

地元食材の提供で郷育を推進するほか、地元生産者の振興を図り、安全安心な学校給食の安定供給をします。

## 妊娠・子育てに寄り添う支援



真庭市こども家庭センター（はぐくみセンター）を中心に、伴走型で切れ目ない支援をします。

妊娠

出産

乳幼児

小学生

母子保健コーディネーター相談で安心して妊娠・出産・育児ができるようサポート  
子育てオンライン相談があるから、保健師が対応するLINEに気軽に相談が可能

出産・子育て応援はぐくみ給付金で妊娠時・出産時それぞれ5万円給付  
はぐくみサポーター派遣で大変な家事・育児を支援  
産後ケア（宿泊型、日帰り型、訪問型）で母子のケアと授乳指導、  
育児相談が可能。心身ともにリフレッシュ

不妊・不育治療支援

こどもを希望する人を全力応援

パパママクラス

妊娠出産育児の講習会



赤ちゃん訪問（保健市）・助産師

生後4か月迄の乳児の家庭を訪問

ブックスタート

絵本をプレゼント

病児保育・一時保育サービス・子育て短期支援

一時的に家庭で保育ができない場合にこどもをお預かり

初めての  
子育ても  
安心

そのほか、新婚さんの新婚生活にかかる費用支援も！  
ふたりの「これから」を、はじまりから応援します。



結婚

妊娠

出産

乳幼児

小学生

中学生

高校生～

子ども家庭センター事業（はぐくみセンター事業）/子育てオンライン相談（LINE相談等）/母子保健コーディネーター相談支援/ひとり親家庭の就労相談支援

まにわパパママクラス

発達発達支援センター事業/食育推進ボランティアによる食の体験活動/家庭教育支援事業

真庭市はぐくみ（母子手帳）アプリサービス

若者・青少年支援相談窓口



育児相談

赤ちゃん訪問

愛育委員による親子交流



はぐくみサポーター派遣事業/産後ケア事業

妊婦・乳幼児健康診査事業/新生児聴覚検診助成

妊婦・パートナー  
歯科健診無償化



医療的ケア児訪問看護レスパイト事業



産婦検診 離乳食教室

乳幼児健診

新婚さんバックアップ事業

出産・子育て応援はぐくみ給付金事業

子ども医療費無償化

低所得妊婦初産科受診料助成

ひとり親家庭への養育費確保支援/ひとり親家庭への就業支援にかかる給付金

妊婦等の遠方医療機関への移動支援

未熟児養育医療  
給付事業

小、中学校の給食費への助成

高校・大学生等の奨学金

不妊・不育治療支援事業

若年がん患者妊孕性温存治療支援事業



- ・私立・公立園の給食費助成
- ・保育園等物価高騰対策支援
- ・保育料減免・無償化（第3子～）



看護学生への奨学金

子どもはぐくみ応援事業/空き家活用推進事業

里山まにわからの贈り物事業

子育て短期支援事業/子どもの居場所づくり支援事業/安心して遊べる場の整備促進/市営住宅の優先入居高騰対策支援



鉄道乗り方教室事業/JR姫新線社会見学学習利用助成事業/子どもと楽しむ音楽会/子ども映画祭上映会

病児保育事業

いのちふれあい事業

つどいの広場の運営

教育魅力化推進事業/よみたい・しりたい・子ども応援事業

- ・子ども園等の施設改修
- ・子ども園等の再編整備促進
- ・民間子ども園サロン事業
- ・園庭であそぼう整備事業
- ・事業所内保育所支援事業
- ・企業内保育所推進事業
- ・一時保育サービス事業
- ・園児のおむつスッキリ事業
- ・真庭市里山定住促進事業

- ・地域学校協働本部事業
- ・放課後子ども教室事業
- ・真庭市里山留学事業
- ・小、中学校給食地産地消推進事業
- ・小、中学校等のICT化推進事業
- ・生理用ナプキンスクール事業
- ・小、中学生向け起業家育成プログラム
- ・芸術アウトリーチ事業
- ・スポーツ少年団補助金事業
- ・地域スポーツ・文化推進事業
- ・小、中学生へのプレゼントコンサート

高校サテライト  
キャンパス推進事業

ロールモデルづくり

フューチャーデザイン  
プロジェクト事業

高校生チャレンジ支援

高校生のビジネス講座  
受講支援



そのほかの子育て支援

女性キャリア開発事業

頑張る保育士応援事業

保育人材の確保促進事業

真庭ではたらく保育士新生活支援事業

子どもたちの防災力育成

地域防災力育成強化事業

子ども防火管理者講習会

子ども消防士育成プログラム

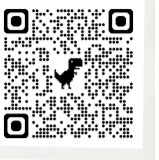

小学生に対する防災意識の啓発



## 相談支援











番号	区分	事業名・事業内容・担当課	予算額 (千円)	詳細
1	新規	<b>若者・青少年支援（相談窓口）</b> 若者が安心して気軽に相談できる相談窓口を設置し、課題の早期発見・対応を図ります。 市や関係機関と連携した地域全体の支援ネットワークを強化します。 <b>くらし安全課</b>	1,020	
2	継続	<b>発達発育支援センター事業（相談体制の充実等）</b> 発達や発育、集団生活での適応など社会生活で困りを持つ方への相談支援・通所支援・家族支援等によるトータルライフ支援を行います。 <b>障がい者・児発達発育支援者センター</b>	14,084	
3	継続	<b>こども家庭センター（通称：はぐくみセンター）事業</b> 保健師、社会福祉士、心理士などの専門職が、妊娠期から子育て期の伴走型の切れ目ない相談支援を行います。 <b>こども家庭センター</b>	-	
4	継続	<b>真庭市はぐくみアプリ（母子手帳アプリ）</b> 母子健康手帳や地域の子育て情報機能のほか、予防接種の予定の管理や電子予診票の入力も可能です。 <b>こども家庭センター</b>	1,459	
5	継続	<b>子育てオンライン相談（LINE相談）</b> 妊娠・出産・子育てに関する相談をスマートフォンなどを使用し、LINE相談を受けます。 また、イベントや子育ての情報を配信します。 <b>こども家庭センター</b>	488	
6	継続	<b>まにわパパママクラス</b> 妊婦やパートナーが妊娠・出産・育児に必要な知識を助産師から学んだり、交流・友達づくりができる場を開催します。 <b>こども家庭センター</b>	232	
7	継続	<b>母子保健コーディネーター相談支援</b> 妊娠や出産、子育てのさまざまな相談に応じ、必要なサービスを紹介する等、安心して妊娠や出産、育児ができるよう応援します。 <b>こども家庭センター</b>	10,318	
8	継続	<b>赤ちゃん訪問（保健師・助産師）</b> 保健師・助産師が生後4か月までの乳児（未熟児含む）のいる家庭を訪問し、母子の健康状態の確認と子育て支援に関する情報提供等を行います。 <b>こども家庭センター</b>	236	
9	継続	<b>育児相談</b> 保健師や栄養士等の専門職が乳児、幼児の発育を確認するとともに、育児についての正しい理解を深め、母子の健康の保持増進を図ります。 <b>こども家庭センター</b>	206	
10	継続	<b>ひとり親家庭就労相談支援</b> ひとり親家庭に対しハローワークと協働し条件に合う就労支援を行います。 <b>こども家庭センター</b>	-	
11	継続	<b>愛育委員のこんにちは赤ちゃん訪問</b> 絵本を通して親子がふれあうことを目的に愛育委員がブックスタートの本を持って赤ちゃん訪問を行います。 <b>健康推進課</b>	171	
12	継続	<b>愛育委員による親子交流事業</b> 乳児と母親を対象にベビーマッサージや、就学前のお子さんと保護者を対象に愛育サロンなどの、親子の交流事業等を開催します。 <b>健康推進課</b>	-	




番号	区分	事業名・事業内容・担当課	予算額 (千円)	詳細
13	継続	<b>食育推進ボランティアによる食育教室</b> 子育てサロン等のつどいの広場やこども園等において、食育推進ボランティアが「食の体験活動（食育活動）」を実施し、健全な食生活の実現につなげます。 健康推進課	1742	
14	継続	<b>家庭教育支援事業</b> 真庭市家庭教育支援チーム「ふらっと」を設置し、身近なエピソードや資料等をもとに参加者同士が交流しながら学ぶ機会を提供しています。 生涯学習課	948	

## 出産・育児・生活支援

番号	区分	事業名・事業概要・担当課	予算額 (千円)	詳細
1	継続	<b>医療的ケア児訪問看護レスパイト事業</b> 在宅の医療的ケア児の看護等を行う家族の負担軽減、休息時間の確保などを目的に医療保険適用を超える訪問看護を受けた場合に一部を助成します。 障がい者・児発達発育支援者センター	1,048	
2	継続	<b>はぐくみサポーター派遣事業</b> 妊娠期から出産後の体力が回復するまでの間（母子手帳交付から産後1年未満）、はぐくみサポーターによる家事支援・育児支援が受けられます。 こども家庭センター	774	
3	継続	<b>産後ケア事業（宿泊型・日帰り型・訪問型）</b> 産後1年未満のお母さんとそのお子さんが、医療機関や助産院等に宿泊または日帰り利用、自宅ケア希望をすることにより、ケアや授乳指導、育児相談が受けられます。令和7年から宿泊型以外は妊娠期からも利用可能になりました。 こども家庭センター	4,850	
4	継続	<b>産婦健診</b> 産後の体調や育児の状況を確認するため、産後8週間以内に委託医療機関で、2回健診を受けることができます。 こども家庭センター	2,025	
5	継続	<b>乳幼児健診</b> 乳幼児の病気の早期発見と健康の保持増進のため医師、歯科医師、歯科衛生士、臨床心理士、保健師、栄養士、看護師等が連携して健診を行います。 こども家庭センター	6,645	
6	継続	<b>離乳食教室</b> 保護者の困りや不安感の解消、生活リズム、食習慣及び間食等について、管理栄養士・栄養士が中心となり、成長や発達状況に応じた支援を行います。 こども家庭センター	231	
7	継続	<b>新生児聴覚検査（費用の助成）</b> 生後1年未満の乳児に対し、医療機関で新生児聴覚検査を実施し、検査費用の一部を助成します。 こども家庭センター	597	
8	継続	<b>妊婦・パートナー歯科健診(自己負担の無料化)</b> 妊婦及びパートナーに対し、市内歯科医院で歯科健康診査、歯科保健指導を行います。 こども家庭センター	502	
9	継続	<b>妊婦・乳幼児健康診査事業</b> 妊産婦および乳幼児が心身ともに健康に過ごすために健康診査を無料で受診できたり、新生児聴覚検査の一部を助成します。 こども家庭センター	24,421	

# 経済的支援

番号	区分	事業名・事業概要・担当課	予算額 (千円)	詳細
1	拡充	<b>妊婦に対する遠方の医療機関への移動支援</b> 遠方の産科医療機関等で受診する妊婦健診や分娩時、不妊・不育治療の移動にかかる交通費と出産時に当該医療機関等の近くで待機するための宿泊費の一部を助成します。 こども家庭センター	2,550	
2	継続	<b>保育所等への給食食材費助成</b> 市内の公立園、私立園、事業所内保育所、認可外保育施設に対し、物価高騰対策のため給食食材費の一部を助成します。 子育て支援課	17,191	
3	継続	<b>保育園等物価高騰対策支援事業</b> 私立園に対し、物価高騰対策のため電気等エネルギー使用料の一部を助成します。 子育て支援課	1,290	
4	継続	<b>保育料の減免・無償化（第3子以上）</b> ひとり親世帯などに該当する場合や第3子以降については、保育料の減免や無償化を行います。 子育て支援課	12,495	
5	継続	<b>ひとり親家庭への養育費確保支援</b> ひとり親に対して、養育費の取り決めに関する公正証書等の作成や、未払い養育費に係る強制執行申立て等を行うための必要な経費を助成します。 こども家庭センター	260	
6	継続	<b>ひとり親家庭への就業支援にかかる給付金</b> ひとり親の方が資格取得を目指して養成機関で修業する期間の生活費を支援します。また、教育訓練講座等を受講する場合に費用の一部を支給します。 こども家庭センター	1,970	
7	継続	<b>出産・子育て応援はぐくみ給付金事業</b> 妊娠時と出産時に応援金それぞれ5万円を給付し、経済的負担を軽減するほか伴走型支援で必要な支援につなぎます。 こども家庭センター	19,000	
8	継続	<b>低所得妊婦初回産科受診料助成事業</b> 低所得家庭の妊婦に対して、妊娠の診断を受けるために医療機関を受診する際の初回費用を助成し、経済的負担を軽減します。（上限1回あたり1万円） こども家庭センター	20	
9	継続	<b>不妊・不育治療支援事業</b> 不妊症・不育症の治療を受けられた夫婦に対して治療費の助成を行い、経済的負担を軽減します。（不妊症は上限20万円、不育症は上限30万円） こども家庭センター	5,500	
10	継続	<b>未熟児養育医療給付事業</b> 身体の発達が未熟なままで生まれ、入院を必要とする乳児に対して、その治療に必要な医療費を助成します。 こども家庭センター	1,165	
11	継続	<b>若年がん患者妊孕性温存治療支援事業</b> 生殖機能に影響するおそれのある治療を受けるがん患者に対して、治療費（妊孕性温存治療）の助成を行い、経済的負担を軽減します。 こども家庭センター	255	
12	継続	<b>市内就職を志す看護学生への奨学金</b> 看護師養成所（大学含む）に在学する者のうち、真庭市内の医療機関に就職を希望する者に対して奨学金の貸付事業を実施します。（返還免除あり） 健康推進課	8,160	
13	継続	<b>こども医療費無償化</b> こども医療費給付事業において、高校生世代（満18歳）まで、無償で医療（入院・通院とも）を受けられます。 市民課	193,758	

番号	区分	事業名・事業概要・担当課	予算額 (千円)	詳細
14	継続	<b>高校生・大学生等への奨学金</b> 高校及び大学等の進学支援として奨学金の貸付事業を実施し、市内就職等を行った場合に借入額の最大2分の1を限度に奨学金返還免除を行います。 教育総務課	10,200	
15	継続	<b>小、中学校等の給食費への助成事業</b> 材料費の仕入れ価格の高騰による保護者の急激な経済的負担を押さえ質を維持するため、園・小中学校等の給食費に食材費高騰分を助成をします。 教育総務課学校給食推進室	9,263	
16	継続	<b>新婚さんバックアップ事業</b> 結婚を機に引っ越した場合の引っ越し代、家賃、新築・改修費用を最大3年で70万円補助します。 地域みらい創生課	23,700	





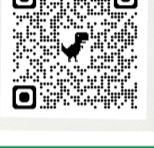
## 子育て環境整備

番号	区分	事業名・事業概要・担当課	予算額 (千円)	詳細
1	新規	<b>こどもまんなか推進事業（こどもまんなかのまちづくり）</b> 「こどもまんなか」を基本に、こどもの思いと権利を大切にし、人と人とのつながりをはぐくみながら家庭・学校・地域が一体となって支えるまちを実現する運動を広げていきます。また、こどもの権利に関する条例を制定します。 総合政策課	7,073	
2	新規	<b>高校サテライトキャンパス推進事業</b> 大学生や市内民間企業に講義をいただくなど、市内高校に通学する高校生向けに新しい学びの場を提供します。 高校魅力化推進担当	13,791	
3	新規	<b>ロールモデルづくり</b> 地域やジェンダーに関係なく進路の可能性を広げて選択することについて考え、そのロールモデルを紹介していきます。 くらし安全課	151	
4	新規	<b>鉄道乗り方教室事業</b> 移動手段として鉄道利用方法、真庭市の公共交通利用方法を学ぶ機会をつくり、将来の地域交通利用へつなげます。 くらし安全課	-	
5	新規	<b>フューチャーデザインプロジェクト事業</b> 地域イベントへの参加に踏み出せない中・高・大生を後押し、地域との関わりのきっかけを作り、地域活性化や関係人口増加につなげていきます。 地域みらい創生課	1,000	
6	拡充	<b>こどもはぐくみ応援事業</b> 「みんなではぐくむ子育てのまち」の実現を目指しこどもまんなかまつりや屋内巡回あそび場、座談会等の開催、新しく居場所の整備をするとともに、子育て情報発信や機運醸成を行います。 子育て支援課	10,376	
7	拡充	<b>芸術アウトリーチ事業</b> 音楽やダンス、狂言などの体験授業を真庭市内の小・中学生を対象に実施。また、親世代へも同様に体験の場を創ります。 スポーツ・文化振興課	7,745	
8	拡充	<b>空き家活用推進事業</b> 子育て世帯の負担を軽減するため、3年以上の定住意思をもって空き家を購入する方に、購入費および改修費用の一部を補助します。 まちづくり推進課	54,400	
9	拡充	<b>放課後こども教室事業</b> 主に長期休業中におけるこどものたちの体験・交流活動を地域の実情に応じて実施します。 生涯学習課	1,116	

番号	区分	事業名・事業概要・担当課	予算額 (千円)	詳細
10	追加	<b>親子で学ぶ平和学習プログラム平和推進事業</b> 次世代を担う市内の小学生とその保護者を対象として、被爆地・広島を訪れ、原爆の悲惨さや命の尊さを学ぶことを目的に、平和学習を行います。 総務課	534	
11	追加	<b>里山まにわかからの贈りもの事業</b> 出産時に木製おもちゃを贈り、木のぬくもりに触れ豊かな感性をはぐくむ子育てを支援します。また、市内障がい者就労施設等の事業振興を図ります。 福祉課	708	
12	追加	<b>放課後児童クラブ巡回相談アドバイザー派遣事業</b> こどもが安全・安心に過ごせ、質の高い育成支援を確保するため、巡回アドバイザーを派遣し各クラブの運営及び保育の質の向上を図ります。 子育て支援課	2,040	
13	継続	<b>こども園等の再編整備促進</b> 老朽化しているこども園等の再編整備を行い、R9年度開園予定の新たな公立の認定こども園の建設工事や、美甘こども園の移転工事等を行います。 子育て支援課	1,210,750	
14	継続	<b>園庭であそぼう整備事業</b> 市内の公立こども園・保育園の園庭を休日に開放し、こどもたちが安心して遊べる場所を提供します。 子育て支援課	-	
15	継続	<b>真庭ではたらく保育士新生活支援事業</b> 新たに真庭市内で保育職として働く方へ補助金を支給します。（保育士の就職支援） 子育て支援課	3,000	
16	継続	<b>頑張る保育士応援事業</b> 奨学金を用いて保育士等の資格を取得し真庭市内に就職した方に対し、奨学金返済額の1/2（上限は年12万円）の補助を行います。 子育て支援課	2,300	
17	継続	<b>民間認定こども園サロン事業</b> 民間園の一時預かり及び地域子育て支援事業の運営費に対し補助金を給付します。 子育て支援課	8,948	
18	継続	<b>園児のおむつスッキリ事業</b> 園児の使用済みおむつを園で処分することで、保護者や保育士の負担軽減を図るとともに、保育士が園児と向き合う時間を増やします 子育て支援課	-	
19	継続	<b>こども園等の施設改修</b> 既存のこども園等の改修を計画的に行い、適正な保育環境の整備を行います。 子育て支援課	17,584	
20	継続	<b>保育人材の確保促進事業</b> 保育現場従事者の免許状の取得や、学生の保育体験のための交通費等を助成し、保育士を確保し市内の保育環境を向上を目指します。 子育て支援課	381	
21	継続	<b>一時保育サービス事業</b> 保護者の疾病や出産、看護等の理由により一時的に保育をすることが困難な方に、保育園等で一時的な保育を提供します。 子育て支援課	-	
22	継続	<b>病児保育事業（市内2か所）</b> こどもが病気のとき、保護者が仕事等の都合で家庭での保育が困難な際に一時的に預かり保育する事業を、2ヶ所に委託し運営します。 子育て支援課	17,440	
23	継続	<b>つどいの広場の運営</b> 就学前の乳幼児と保護者が気軽に集い、交流しあえる場所を提供します。 子育て支援課	33,066	

番号	区分	事業名・事業概要・担当課	予算額 (千円)	詳細
24	継続	<b>放課後児童クラブの整備</b> 保護者が就労等の理由で昼間家庭にいない児童を放課後に預かり、児童の健全な育成を図るため、16クラブ17か所に委託して運営しています。 <b>子育て支援課</b>	19,072	
25	継続	<b>事業所内保育所推進事業</b> 第3子児童の保育料を無償化するため、事業所内保育所へ補助をします。 <b>子育て支援課</b>	2,040	
26	継続	<b>子育て短期支援事業</b> 保護者の疾病、出産、育児疲れ、冠婚葬祭等の理由で一時的に家庭でこどもを養育することが難しくなった場合に、施設でこどもの預かりを行います。 <b>こども家庭センター</b>	393	
27	継続	<b>いのちふれあい事業</b> 中・高校生を対象に命の大切さを学ぶためのふれあい体験学習を、愛育委員と中・高校、健康推進課が連携して事業を行っています。 <b>こども家庭センター</b>	47	
28	継続	<b>JR姫新線社会学習利用助成事業</b> 姫新線の利用体験を通じて社会性を育むため、姫新線を活用した社会学習に対して運賃等に対して補助金を支給します。 <b>くらし安全課</b>	560	
29	継続	<b>スポーツ少年団補助金事業</b> 青少年の健全育成及びスポーツの振興を図るため、市内のスポーツ少年団の活動を支援し補助金を交付します。 <b>スポーツ・文化振興課</b>	10,530	
30	継続	<b>地域スポーツ・文化推進事業</b> 中学校の学校部活動が地域移行されるに伴い、地域において中学生がスポーツ・文化活動ができる場を確保できる体制づくりを行います。 <b>スポーツ・文化振興課</b>	23,288	
31	継続	<b>小学校での馬とのふれあい体験</b> 馬術をもっと身近に感じ、乗馬の楽しさを知ってもらうため、小学校で馬とのふれあい体験を実施します。 <b>スポーツ・文化振興課</b>	454	
32	継続	<b>子どもと楽しむ音楽会</b> 気軽にオーケストラを親子で楽しめるよう、真庭市・岡山フィルハーモニック管弦楽団・真庭エスパス文化振興財団が連携し、音楽界を開催します。 <b>スポーツ・文化振興課</b>	500	
33	継続	<b>小・中学生へのプレゼントコンサート</b> オーケストラを体験する音楽会を開催することで、子ども達への情操教育の一端を担います。 <b>スポーツ・文化振興課</b>	440	
34	継続	<b>こども映画祭上映会（文化活動補助事業）</b> こどもから大人までを対象とした映画祭を開催します。上映を行うほか、作品に関連したゲストを迎え、ワークショップやシネマトークを開催します。 <b>スポーツ・文化振興課</b>	1,701	
35	継続	<b>小、中学生向け起業家育成プログラム</b> 小中学校におけるキャリア教育の充実を図り、地域の産業を支える人材育成のため起業家育成プログラムを実施します。 <b>産業政策課</b>	4,110	
36	継続	<b>高校生ビジネス講座受講支援</b> 高校生のスキルアップを支援し未来の産業人材を育成するため、プログラミング、デザインなどの講座の費用の一部を支給します。 <b>産業政策課</b>	1,000	
37	継続	<b>高校生チャレンジ支援</b> 未来の産業人材を育成するため、地域の課題解決および経済活性化をビジネスで解決する高校生の取組に対して費用の一部を支援します。 <b>産業政策課</b>	500	

番号	区分	事業名・事業概要・担当課	予算額 (千円)	詳細
38	継続	<b>女性キャリア開発調査事業</b> 女性や企業に対する調査を実施し、支援体制についてのデータベースを構築するなど、女性の仕事と家庭の両立やキャリア形成を支援します。 産業政策課	1,342	
39	継続	<b>企業内保育所推進事業（事業所内保育所等推進事業）</b> 企業が設置する保育所等に地域枠を設けて、設置企業従業員以外の乳幼児を受入れている企業所内保育所に対して助成を行います。（1人月額5千円） 産業政策課	540	
40	継続	<b>安心して遊べる場の整備促進</b> 広く要望を募り、公民協働によるポケットパークを整備します。 まちづくり推進課	500	
41	継続	<b>市営住宅の優先入居</b> 子育て中の多子世帯（18歳未満の子を3人以上扶養する者）又は小学生以下の子が1人以上いる世帯は入居に関して配慮が必要な方を優先します。 まちづくり推進課	-	
42	継続	<b>真庭市里山定住促進事業（出張里山の日）</b> 幼少期から里山に触れ、地域への愛着と誇りを醸成する事を目的に「将来の定住促進、地域社会を担う人材の育成」の定住促進事業を実施します 地域みらい創生課	2,998	
43	継続	<b>真庭市里山留学事業（移住促進）</b> 将来の移住者のため関係人口の増加を目的に「将来の移住の促進、地域社会を担う人材の確保」の移住促進事業を実施します。 地域みらい創生課	10,610	
44	継続	<b>地域防災力育成強化事業</b> 自然災害から命を守るためにジュニア防災教育として、園・小中学校・高校等を対象とした防災学習授業、避難訓練支援、防災学習等を実施します。 危機管理課	660	
45	継続	<b>小学生に対する防災意識の啓発</b> 小学生の防災教育等に活用できるよう、防災パンフレットの提供を行います。 危機管理課	50	
46	継続	<b>こども防火管理者講習会</b> 消防用設備や避難経路など防火管理についての知識を習得する講習会を小学3年生以上を対象に実施します。 消防本部予防課	6	
47	継続	<b>こども消防士育成プロジェクト</b> こどもたちが災害時に様々な行動により生き抜く力を身につけられるよう、火災や災害の危険性についての講習会を5歳児以上を対象に実施します。 消防本部予防課	10	
48	継続	<b>教育魅力化推進事業（高校魅力化推進も包括的に実施）</b> 郷育魅力化コーディネータを配置し、学校・園・家庭・地域をつなぐ伴走支援を実施します。また、市内高校PRイベントの実施、資格取得・海外短期留学・国内視察研修支援等の各種教育支援を実施します。 教育総務課	59,571	
49	継続	<b>小、中学校等のICT化推進事業</b> セキュリティ対策が施されたアプリを用いて、欠席等連絡や保護者家庭への情報発信、情報の閲覧に関する利便性向上を進めます。 教育総務課	2,799	
50	継続	<b>学校給食地産地消推進事業</b> 地元食材を学校給食で提供することを通じ、郷育を推進するとともに地元食材の生産者の振興を図り、安全安心な学校給食の安定供給を目指します。 教育総務課学校給食推進室	5,400	

番号	区分	事業名・事業概要・担当課	予算額 (千円)	詳細
51	継続	<b>生理用ナプキンスクール事業</b> 児童生徒が必要な時に生理用品を利用できるよう、市内小中学校のトイレに生理用品を設置します。 学校教育課	-	
52	継続	<b>よみたい、しりたい、こども応援事業</b> 児童・生徒が学校で公共図書館の本を予約、受け取りできるようにします。 また、自動車文庫の高校巡回をします。 生涯学習課図書館振興室	494	
53	継続	<b>蒜山平和学習</b> 市内の小学生が蒜山に残る戦争遺跡を見学し、平和について考える学習を支援します。 生涯学習課	1,166	
54	継続	<b>地域学校協働本部事業</b> 「学校を核とした地域づくり」を目的に地域と学校が連携協働する地域学校協働活動を実施します。 生涯学習課	11,777	
55	継続	<b>こどもの居場所づくり支援事業（あそびの機会づくり）</b> こどもが自由で自発的に遊ぶことができる遊びの機会づくりや、見守る大人を増やし、世代を超えた大人のネットワークを育みます。 生涯学習課	6,095	

## 真庭市子育て情報 発信ツール

### こどもあ



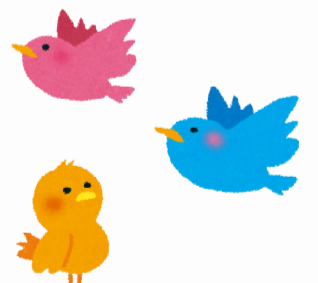
「こどもあ」は真庭で子育て中の保護者が発信するSNSです。真庭市での子育ての様子やイベント情報など発信しています



### 真庭市公式LINE



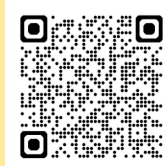
防災・暮らし・子育て・イベント情報のほか、身近な行政手続きを調べたり、市からの情報が届きます



みんなの声を  
届けよう！

**真庭市のこども、子育てについて  
みなさんの声をお聞かせください**

各担当部署において、今後のサービスの向上や施策の改善につなげていきます。  
※個別の回答はいたしません



真庭市ホームページ  
からも可能です  
↓  
トップページの  
このアイコンをクリック！





# 真庭市 こどもまんなか応援サポーター

みんなで  
こども・子育てを応援！！



真庭市キャラクター まにぞう

こどもまんなか応援サポーターとは、すべてのこどもたちのために何が最もよいことを常に考え、こどもたちが健やかで幸せに成長できるような社会を実現する「こどもまんなか」の趣旨に賛同し、自らもアクションに取り組む個人や地方自治体、団体、企業をいいます。市内の企業、事業所、団体、そして個人の皆さまも、ぜひサポーターとしてこの取り組みに参加し、未来を創るこどもたちと一緒に応援していきましょう！



## 真庭市こどもまんなか応援サポーターの "アクション" (こども・子育て応援) 例

- ✿ 子育てと仕事の両立を応援している
- ✿ キッズ食器やキッズメニューがある
- ✿ こどもの急な病気・用事でも気兼ねなく有給休暇が取れる
- ✿ 離乳食の持ち込み可能
- ✿ 女性・男性問わず育児休業を取得しやすい職場環境を作っている
- ✿ こどもの食事を優先提供している
- ✿ 病児保育で働く保護者を支援している
- ✿ 授乳室やおむつ替えベッドを用意している
- ✿ こどもたちの登下校の見守り活動をしている
- ✿ こどもや保護者が過ごせる居場所を作っている
- ✿ こどもが楽しむイベント、学びの場を提供している
- ✿ リユースこども品の貸し出しや譲り合いの場を設けている

真庭市役所も  
こどもまんなか  
応援サポーターです

**こどもまんなか応援サポーター宣言**

真庭市に生まれ暮らす全てのこどもたちが、将来にわたって幸せに暮らせ、そしてこどもを産み・育てたいと思う方々が夢や喜びを感じられることは、私たちみんなの願いです。

その実現のため、妊娠・出産・子育てのライフステージに応じた、切れ目ない支援「こどもはぐくみ応援プロジェクト」をはじめ、みんなではぐくむ子育てのまちの実現に向けて全力を尽くします。

みんなで、真庭の未来を創るこどもたちを育てていきましょう。

令和5年8月10日  
真庭市長 太田 昇

こどもたちのために  
できることから・・・



# 真庭市こどもまんなか応援サポーターのみなさま



## 企業等

- ・山縣電機工業株式会社
- ・真庭商工会
- ・医療法人社団 井口会
- ・株式会社ランネット
- ・株式会社湯快感花やしき
- ・株式会社Mieux
- ・社会福祉法人 吉美会  
特別養護老人ホーム花岡荘
- ・株式会社平田建設
- ・三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 岡山工場
- ・オーティス株式会社
- ・株式会社デンソー勝山
- ・山下木材株式会社
- ・株式会社ヒルゼン高原センター
- ・アサヒフォージ株式会社 真庭工場
- ・医療法人美甘会
- ・みんなのクリニック
- ・鳥越工業株式会社
- ・生活協同組合おかやまコープ
- ・株式会社 藤岡エンジニアリング
- ・ワイテック工業株式会社
- ・日本生命保険相互会社 真庭営業部
- ・日本生命保険相互会社
- ・株式会社はこらぼ
- ・株式会社ライフギアプロジェクト
- ・中野農園



## 飲食店・サービス店

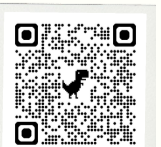
- ・山のピザ屋 ぷらてりーあ
- ・Sei-daku 泡せ飲ム
- ・Nostalgie Cafe ろまん亭
- ・株式会社ヒルゼン高原センター  
「レストランFARMY」
- ・白壁
- ・真庭めぐりガーデン
- ・いけだキッチン
- ・楽食酒場 縁 enishi
- ・白寿庵
- ・オハナ道の駅蒜山高原店
- ・うどん処本峰
- ・Restaurant AQUA
- ・フレッシュベーカリー・ソレイユ
- ・悠悠
- ・CAFE indigo blue
- ・インドレストランさくら
- ・古民家キッチン ひるぜん山楽
- ・TABIBITO SHOKUDO
- ・ふとんのとみなが
- ・かびばらこーひー
- ・彩彩台湾
- ・CHICK
- ・自家製コーラとハンバーガー テンズ
- ・Lunch&cafe DANDAN
- ・がちゃポンやき
- ・アポロ美容室
- ・Cafe2/3



## 子育て応援団体・個人

- ・古谷 勝さん
- ・社会福祉法人真庭市社会福祉協議会
- ・まるっと
- ・NPO 法人manabo-de
- ・公益財団法人真庭エスパス文化振興財団
- ・久世税務署
- ・一般社団法人真庭青年会議所
- ・リサイクルプラザまにわの会
- ・一般社団法人field of dreams 真庭
- ・中和つどいの広場
- ・湯原つどいの広場
- ・勝山つどいの広場やまっこ
- ・くせ生き生きサロン
- ・NPO 法人子育て支援の会「サポートあい」
- ・北房つどいの広場ほくぼうほたるっこ
- ・子育て支援拠点ふわりん

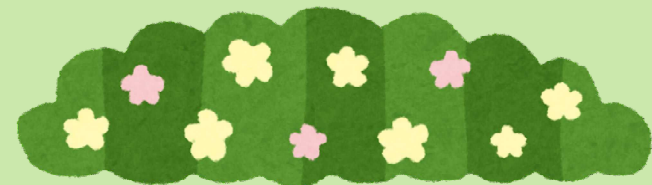
- ・おさがり広場くるりんば
- ・NPO 法人真庭めぐりガーデンプロジェクト
- ・真庭市家庭教育支援チームふらっと
- ・しらうめスポーツクラブ
- ・スポーツ・レクリエーション倶楽部くせ
- ・公益財団法人真庭スポーツ振興財団
- ・真庭警察署
- ・真庭市食育推進ボランティア団体
- ・FLASH FORWARD
- ・Fit Body Design
- ・つれのーて
- ・一般社団法人コミュニティデザイン





お問い合わせ

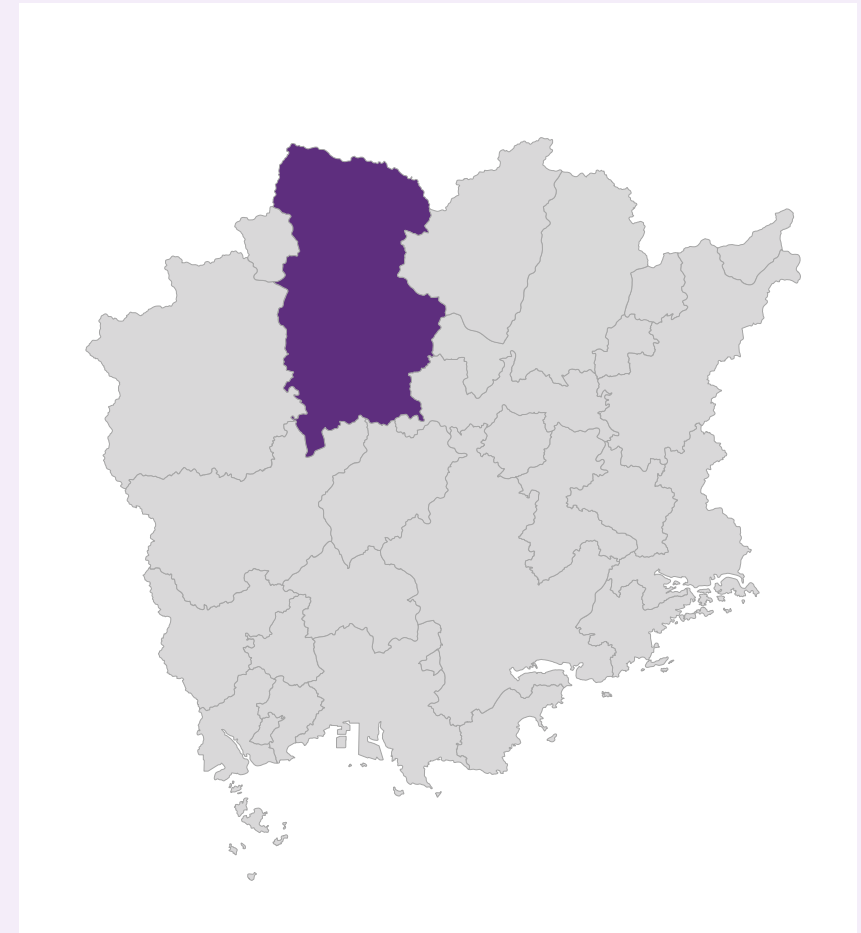
岡山県真庭市久世2927-2  
真庭市健康福祉部子育て支援課  
0867-42-1054





## 真庭市の概要

真庭市は、岡山県の北部に位置し、鳥取県との県境に接しています。面積は、県内最大で、森林資源を生かした木材産業や木質バイオマスの取組が盛んです。蒜山高原や湯原温泉、神庭の滝、醍醐桜など観光資源も豊富にあります。



総面積

828.5km<sup>2</sup>

総人口

40,778人 (R7.1)

世帯数

17,562世帯 (R7.1)

合計特殊出生率

1.56 (出生数189人) (R5)

未婚率  
(25~39歳)

男性 51.1% 女性 32.6% (R2)

有配偶出生率  
(15~49歳)

73.2 人/千人 (H30~R4年平均)



## 地域が抱える課題と参加した背景

### 真庭市が抱える課題

- 若年層の転出超過
- 男性の未婚率が高い
- 第一子の出生率が低い
- 希望こども数と予想こども数・出生率の乖離
- 高い定住率と低い転入率



### 参加 目的

EBPMによる施策立案を進めたかったから。





## 着目した地域課題

- ・ 若年女性が転出してしまおう、転入してこない
- ・ 結婚したい人の希望がかなえられていない
- ・ 子育て世帯女性のウェルビーイングが低い

## 目指すべき地域の状態

# 若年女性が楽しく過ごせるまち

**解決を目指す出生に関する指標**

希望こども数と予想こども数の乖離の解消

## その課題に着目した理由

これから結婚、妊娠、出産のライフステージを迎える人たちが子育てに希望が持てる地域を作っていく



## インタビュー調査での気づき

### 調査設計

#### 設定した探索の問い

- ・なぜ真庭市は若年女性が転出してしまおう、転入してこないのか？
- ・なぜ真庭市は結婚したい人の希望が叶えられていないのか？
- ・なぜ子育て女性のウェルビーイング指数が低いのか？

#### 調査対象者

- ① 市内外の高校に通う女子
- ② 大学に通う未婚の女子
- ③ 29歳以下の女性 (婚姻・子どもの有無は問わない)

#### 調査方法

- ①②③ グループインタビュー (90分×1グループ)

#### 主な聴取項目

##### ・真庭市について

- 住んでいて感じる住みやすさ/住みにくさ
- 地域の雰囲気
- 市内と市外を比べてみての違い

##### ・職業やライフプランについて

- 将来就きたい職業
- 職場に求める条件
- 結婚・出産の具体的なライフプランを描いているか

##### ・住まいについて

- 将来どんな町に住みたいか
- その希望に真庭市はあてはまるか
- 真庭市の子育て支援について

- ・ 真庭市の魅力は人との温かい交流と安心感。また、豊かな自然環境と子育て環境。
- ・ 真庭市の課題は公共交通機関が不便なこと。また、娯楽・商業施設の不足。
- ・ 真庭市への定住意向を持つ層は「地元愛」や「地域貢献」が動機。また、子育て環境の魅力が後押し。高校生は強い地元愛がある。
- ・ 真庭市外での就職を視野に入れる層は「キャリア形成の重視」、「経済的安定への懸念」、「高校生の多様な選択肢」が要因。
- ・ 子育て支援への評価がある一方、経済的な不安が結婚・出産を阻害。また、出会いの場の少なさや「嫁ぐ」風潮と移住への影響がある。
- ・ 仕事と居住地については、場所を優先する層とライフプランや金銭的メリットを優先する層、キャリアを優先する層に分かれる。



## 目指すべき地域の状態

# 若年女性が楽しく過ごせるまち

### 住民の声から見てきた課題の要因①

- ・ 地域愛着・価値観の変化



#### その要因①の解決方向性

- ・ 若年層の本来感・自己効力感の上昇
- ・ 体験や交流機会の充実
- ・ 地域活動への参加機会の確保
- ・ 市内企業の魅力発信
- ・ 地域の魅力・支援制度の発信
- ・ こども・若者の権利の尊重
- ・ 地域ボランティア・市民活動の促進

#### 参考となる住民の声

- ・ 興味や趣味が都会の方がたくさんある。
- ・ 真庭市は女性が嫁ぐ風潮がある。
- ・ 人の目がすごいあり、プライバシー無いと感じる。

### 住民の声から見てきた課題の要因②

- ・ 保育・教育関連



#### その要因②の解決方向性

- ・ 多様な保育サービスの充実
- ・ 保育人材の確保
- ・ こどもの居場所の充実

#### 参考となる住民の声

- ・ 少人数の学校では学習の機会に差がある。
- ・ こどもを遊ばす場所も少ない。
- ・ 少人数の小学校から人数の多い中学校になってしんどくなった。

### 住民の声から見てきた課題の要因③

- ・ 医療・保健関連



#### その要因③の解決方向性

- ・ 小児科や周産期医療等の継続
- ・ 不妊治療に対する支援拡充
- ・ 夜間・休日の医療体制の充実

#### 参考となる住民の声

- ・ 市内で産科の選びしろがない。
- ・ 都市部の産院は選べるし、サービスが充実している。



住民の声から見てきた課題の要因①

- ・ 地域愛着・価値観の変化

事業アイデア

芸術アウトリーチ事業

郷育を核としたライフ  
キャリア教育

高校サテライトキャンパ  
ス推進事業

住民の声から見てきた課題の要因②

- ・ 保育・教育関連

事業アイデア

放課後児童クラブ巡回相  
談アドバイザー事業

公共施設を活用したこども  
の遊び場・居場所づくり

若者のためのフューチャー  
デザインプロジェクト事業

住民の声から見てきた課題の要因③

- ・ 医療・保健関連

事業アイデア

妊婦等に対する遠方の医  
療機関への移動支援事業

真庭市大学生等関係人口  
推進事業



## 事業アイデア名 芸術アウトリーチ事業

### 事業の趣旨・必要性

これまで、こどもたちを対象に実施していた本事業について、親世代へのアプローチを行うことや、困難を抱える人たちなど、多様な地域住民へ文化芸術への回路を切り開き「地域のQOL」向上に寄与する。

### 事業の内容

子どもの感受性や創造性をはぐくむとともに、文化芸術を身近に感じてもらうため、質の高い芸術や地域の伝統工芸などに触れる機会を提供する事業を実施している。

既に実施している小中学生を対象とした学校へのアーティストや講師の派遣、市内公共ホール等での鑑賞体験に加え、親世代や困難を抱える人たちへの参加機会を設ける。併せて、事業実施側や先生などに対して研修を行い理解を深めていく。

#### <想定されるアウトリーチ先>

- ・親世代の多い職場
- ・地域の子ども会
- ・PTAの会議
- ・病院
- ・福祉施設 ほか



## 事業アイデア名 郷育を核としたライフキャリア教育

### 事業の趣旨・必要性

こどもや若者が育つのは園・学校だけではなく、地域全体がフィールドである。地域の魅力的な大人と出会い、こどもたちや若者の「やってみたい」を共につくり、一緒に実践していきながらこどもも育ち大人も育つ。ふるさとは、「やってみたい」ことが応援され、実現できるという居心地が良く楽しい場所となる。こどもたちや若者を中心とした人づくりを進めることは、結果的に持続可能な地域となる。

### 事業の内容

- ・運営主体の構築（園・小・中・高など、すべての年代を通じて、地域活動の軸に「ライフキャリアを体現している真庭人」と出会い、対話し、一緒につくる活動を位置づける運営主体）
- ・コーディネーターの設置（こどもや若者の意見を聴き、ていねいな人つなぎを行い、「一緒にやる」を創り出す）
- ・活動拠点の設置（公民館・図書館・空き公共施設・学校開放など）



## 事業アイデア名 高校サテライトキャンパス推進事業

### 事業の趣旨・必要性

市内の高校生に対して、大学や企業と連携した特色あるカリキュラムを提供し、魅力的で選ばれる高校づくりを目指す。

地域の特色を活かした教育プログラムを通じて、高校・大学・企業の産学官連携を強化し、社会で求められる人材の育成を推進する。

また、真庭の子どもたちが安心して学べる場を確保するため、本事業の推進が不可欠である。

### 事業の内容

真庭高校久世校地跡地を活用し、地域連携型の探求学習やプロジェクト学習、短期集中講座などを展開。大学や企業、地域と連携しながら、高校の教育課程に位置づけることで、多様な学びの場を整備する。



## 事業アイデア名

若者のためのフューチャーデザインプロジェクト事業

### 事業の趣旨・必要性

地域自主組織が実施する地域イベントや市民団体が実施する人口減少対策イベントに中高生や大学生が参加するきっかけをつくることで、地域の抱える課題や隠れた魅力に気づく機会を与え、シビックプライドの醸成を促す。また、若者たちが地域のイベントに参加することで、地域の賑わいと活性化にもつなげる。

### 事業の内容

イベント活動に参加した場合、市から「ボランティア証明の発行」と1回「500まにわ」の贈呈を行う。真庭市のもつスーパーアプリを使ってゲーム性を持たせ、スタンプラリー形式として3件達成で「1000まにわ」といった仕組みを構築し、楽しみながら地域イベントに参加できるようにする。関係人口づくりとしても実施し、地域を知ることにより、将来、UIターン候補先になる。



## 事業アイデア名 真庭市大学生等関係人口推進事業

### 事業の趣旨・必要性

大学生等(大学、高等専門学校、短期大学又は専修学校等)で構成する団体が大学のない真庭市において、フィールドワーク活動を行う経費を一部補助することで、交流人口の拡大及び地域活性化を図る。

### 事業の内容

都市部の大学生が一定期間(3日～1週間程度)真庭市に滞在し、地域の人々と関わりながらフィールドワークを行う場合に、宿泊費と交通費を対象経費の2分の1を補助する。宿泊費については、一人1泊につき5千円を上限とし、1旅行行程につき4泊までを対象とする。また、交通費については、一人につき1旅行行程当たり1万円を上限とし、宿泊費及び交通費は一人につき年度につき3回まで使用可能とする。



## 事業アイデア名 放課後児童クラブ巡回相談アドバイザー派遣事業

### 事業の趣旨・必要性

放課後児童健全育成事業において、子どもが安全・安心に過ごすことができ、質の高い育成支援を確保するための助言・指導等を行うため、巡回アドバイザーを派遣し、各クラブの運営及び保育の質の向上を図る。

(R7：悩み事・困り事の把握を実施)

### 事業の内容

運営及び保育の質の向上を図る。

- ・ 運営：主に保護者会が運営しているため、労務管理（人材確保、支援員の処遇改善、賃金等）の助言等
- ・ 保育：支援員へ、障がいに合わせて関わり方、小学校との連携、保護者への対応等の助言等



## 事業アイデア名 公共施設を活用したこどもの遊び場・居場所づくり

### 事業の趣旨・必要性

「こどもまんなか」の理念のもと、こどもが地域で安心して過ごせる居場所を確保し、自主性・社会性をはぐくむ機会を提供する。

今夏に市内7か所の公共施設を巡回して実施した「夏やすみあそび広場」でも猛暑時のこども・親子の居場所に対するニーズが確認できた。

### 事業の内容

- ・公共施設にこどもが集える常設の居場所をつくることで、過度に介入しすぎない見守りのもと、こどもが安心して過ごせる環境を確保する。
- ・自然・文化拠点など、地域の特性を生かした「その地域らしい居場所」づくりが可能。
- ・新たな施設整備費を最小限に抑えながら、安全で安心できる居場所を迅速かつ効率的に確保する。



## 事業アイデア名 妊婦等に対する遠方の医療機関への移動支援事業

### 事業の趣旨・必要性

晩婚化、初産年齢の上昇傾向に伴い、子どもをもうけたい人の不妊治療・不育治療の重要性が高まっているが、その治療のできる医療機関は限られており、真庭市民のほとんどが岡山市内の医療機関に通院している。遠方の機関に通う経済的負担や心身の負担が大きいいため、支援の必要がある。

### 事業の内容

令和7年度から新規事業を開始した真庭市妊婦に対する遠方の医療機関への移動支援事業について、令和8年度から、対象を不妊治療及び不育治療の通院にも拡充し交通費の一部を助成する。既存事業では、自家用車を使用する場合の経費として1km当たり30円に加えて、高速道路利用料も助成対象としているため、心身の負担軽減にもつながる。



## 参加してみた成果・課題、今後に向けて

### 参加してみたの気づき・学び・成果

- データに基づき事業を検討するプロセスを学ぶことができた。
- 他市町村と地域課題や事業アイデアを共有でき、参考になった。

### 参加してみたの課題・苦労点

- 関係部署と調整して進めていくことに苦労した。
- 予算要求のスケジュールが早かったため、事業アイデアを検討する時間がほとんどとれなかった。
- WSの内容を事前に教えていただけるともう少し内部で検討してWSに参加できたのではないかと感じた。

### 令和8年度に向けて

- バックアップ事業の検討プロセスを参考に課題の中で重要度の高いものについては、引き続き対応策を検討していきたい。

## 1. 現状（今わかっていること・すでにやっていること）

- 各課での個別実施：それぞれの部署が独自にこども対象のアンケート調査などを実施している。
- 情報の分散：各課の政策で反映されるのみで、横断的な情報共有や意見の活用がなされていない。
- 接点の不明確さ：どの課がどこにこどもとの接点を持っているのか、全庁的な把握ができていない。
- 内容の傾向：こどもの要望は娯楽や利便性を求めるものが多く、コストがかかるものも多い。
- こども家庭庁の動向：国が意見反映を推進しており、こどもを一人の人間として尊重し、成功体験を感じられるプロセス（身近なテーマ設定やフィードバック）が必要とされている。

## 2. 課題（誰がどんなことに困っているか）

- 市役所の体制：意見を集約し事業を進める仕組みが乏しく、市役所全体で課題を共有・解決する場がない。
- 対象者の負担：複数の部署が同じ対象（中高生など）に別々にアンケートを依頼するため、回答側から「まとめてほしい」という意見が出ている。
- 機会の欠如：こども自身が「意見を言う機会」があることを知らず、直接意見を聴く場（座談会など）も少ない。
- 現場の制約：中高生も職員も多忙であり、学校側の協力体制を得ることが難しい。
- テーマ設定：「少子化」など課題が大きすぎると動きにくいいため、より身近で分かりやすいテーマ設定が求められている。
- フィードバック：意見を聴いた後のフィードバックまでのプロセスが確立されていない。

## 3. 理想とのギャップの正体（ボトルネック）

- 人手と窓口の不足：意見を聴くための人手が足りず、相談窓口もバラバラで確立されていない。
- スキル不足：こどもの声を聞き取る手法が確立されておらず、ファシリテーターができる人材も不足している。
- 意識の課題：各課がこども特有の意見収集を意識できておらず、実現に向けた事務作業の具体的なイメージ（手間など）が持っていない。
- ICT 活用の遅れ：学校のタブレット等を低年齢層の意見収集に十分に活用できていない。

## 4. コアメンバー会議での進め方（大枠）

- 主管課：子育て支援課、またはテーマに応じて柔軟に設定。
- コアメンバー構成：
  - 総合政策課、まちづくり推進課、地域みらい創生課、財政課、教育委員会。
  - 部署にこだわらず「やりたい人」や「興味がある職員」を集める形も理想。
- 連携の柱：学校が中心となる連携体制が必要。

## 5. コアメンバー会議で検討すべきこと

- フィードバックの義務化：意見反映できない場合も含め、こどもへのフィードバックを必須とする。
- 手法のイノベーション：アバターや仮想空間での遊び感覚の聴取、真庭プリとの連携、タブレット活用など、こどもが答えやすい手法を検討する。
- 目的の再定義：意見聴取を「目的」とせず、こども自身が「役立っている」と実感できるプロセスを構築する。
- 年代・場に合わせた聴取：低年齢層や中高生など、年代に合わせた「生の声」の聞き取り方を具体化する。

# テーマ：情報発信（子育て情報の届け方）

---

## 1. 現状（今わかっていること・すでにやっていること）

- 発信手段：市は広報紙、ホームページ、SNS、告知放送、MIT（真庭いきいきテレビ）など多様な媒体で発信している。
- 情報の受け取り方：親子ともに各自が好きな情報を選んで取り入れているが、市からの情報は自分から取りに行く必要がある。
- 情報の価値観：情報の価値は大都市中心に集まる傾向がある。
- 利用者側の不満：「欲しい情報が見つからない」「どこに何があるか分からない」という声が既に上がっている。

## 2. 課題（誰がどんなことに困っているか）

- 子育て世代（市民）：必要な情報が手に入らず、市の提供情報は分かりにくいと感じている。若者世代は、得た情報を真庭で実現できない（例：スタバがない等）というギャップも抱えている。
- 行政（職員）：
  - 手応えの不在：発信している自負はあるが、実際に届いているか把握できていない。
  - 運用のばらつき：部署によって情報の出し方や更新頻度に差があり、検索しても情報が古い・載っていない等の不備が生じている。
  - 連携不足：他課の情報を把握できておらず、イベントカレンダー等のプラットフォームも活用しきれしていない。

## 3. 理想とのギャップの正体（ボトルネック）

- 手法と機能のミスマッチ：必要な人に情報を届ける「プッシュ型」が求められているが、公式 LINE 等の機能や「まにあぶり」などのプラットフォームを使い切れていない。
- 情報の質と整理：情報過多な一方で正確性の担保が難しく、統合ポータルや「よくある質問（FAQ）」が整備されていないため、同じ質問が繰り返されている。
- リソースと知識：職員の知識不足や、どこまで詳しく書けばよいかという判断基準が不明確である。

## 4. コアメンバー会議での進め方（大枠）

- 主管課：秘書広報課
- コアメンバー構成案：
  - 情報発信の専門家：広報主幹（活用・若手の視点）
  - 事業・政策部門：子育て支援課、総合政策課（まにあぶり担当）

## 5. コアメンバー会議で検討すべきこと

- 発信方法のアップデート：
  - 動画を活用した発信（専門 YouTube チャンネルなど）の検討。
  - 公式 LINE 等のプラットフォーム機能を活用したプッシュ型配信の具体化。
- 情報の整理と見直し：
  - 情報の見やすさの改善と整理。
  - 「よくある質問（FAQ）」ページの整備。
- 職員のスキルアップ：
  - ホームページの作り方に関する研修の実施。
  - 広報主幹や若手職員からの効果的な手法の提案・解決策の検討。

# テーマ：こどもの居場所づくり

---

## 1.現状（今わかっていること・すでにやっていること）

- 昔は居場所がたくさんあった。
- ゲームも居場所になっているこどもがいる。
- 図書館で居場所づくりをしている。
- 居場所を見つけられていないこどもがいる

## 2.課題（誰がどんなことに困っているか）

- 特定の居場所で、騒ぎすぎる
- 居場所がなく、自己肯定感がもてない
- 居場所まで行く交通手段がない
- 大人がこどもに関わりにくくなっている

## 3.理想とのギャップの正体（ボトルネック）

- 居場所を見つける、作る、力を付けていく
- こどもとおとなの関り方を考える
- 地域にある様々な活動がこどもとおとなの居場所につながっていく
- こどもをお客様にしない
- こどもが地域の大人となっていく、循環が生まれる

## 4.コアメンバー会議での進め方（大枠）

### コアメンバー会議の体制

- コアメンバー（3-5名程度）：
  - 組織で検討するよりも、興味ややる気がある職員と市民（こども含む）